



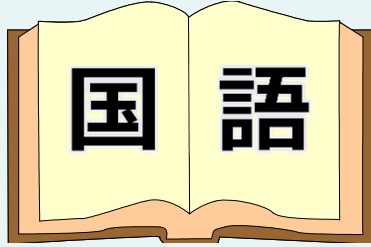
平成24年度 大阪府学力・学習状況調査



結果分析【府内公立】

大阪府教育センター

● 小学校 6 年生 ●



小学校
 領域別
 観点別
 形式別
 正答率一覧表
 (府内公立)



結果分析 / DATA編

分類
学習指導要領の 領域等
評価の観点
問題形式

A	
全問題数	18問
正答率	73.1%
誤答率	23.5%
無解答率	3.4%

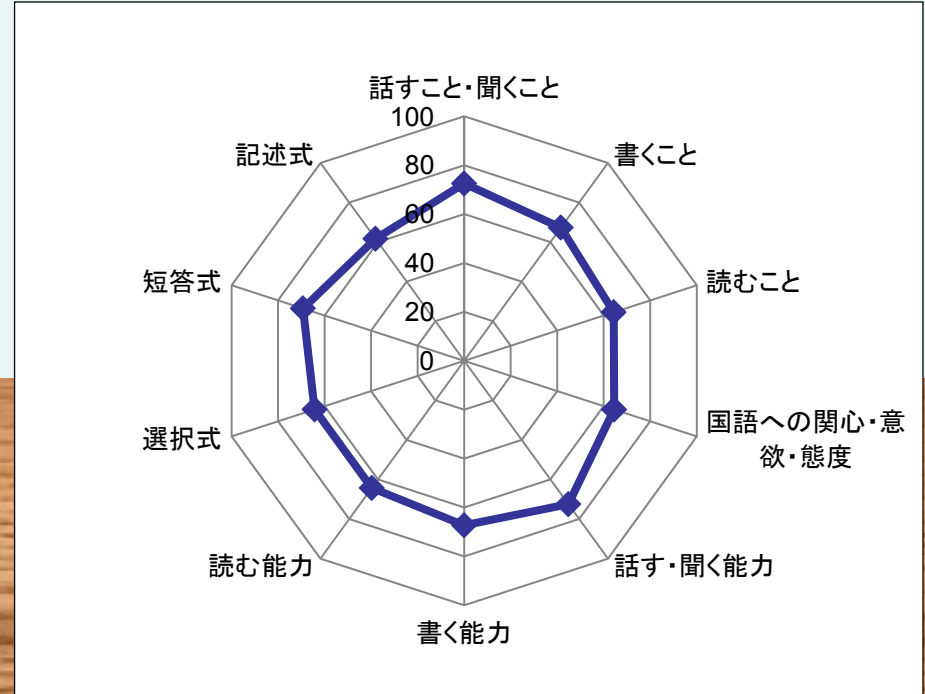
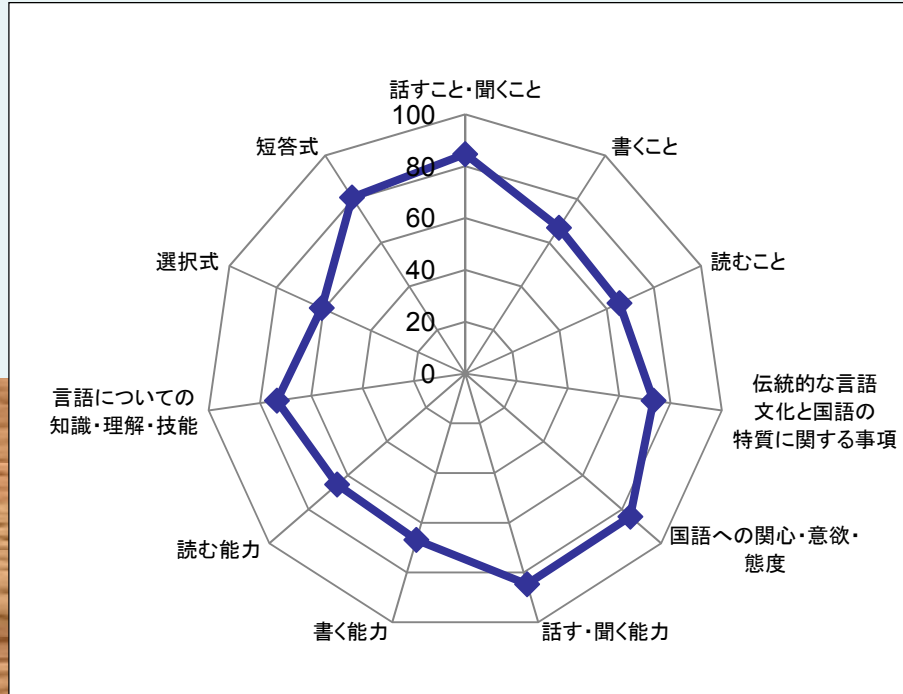
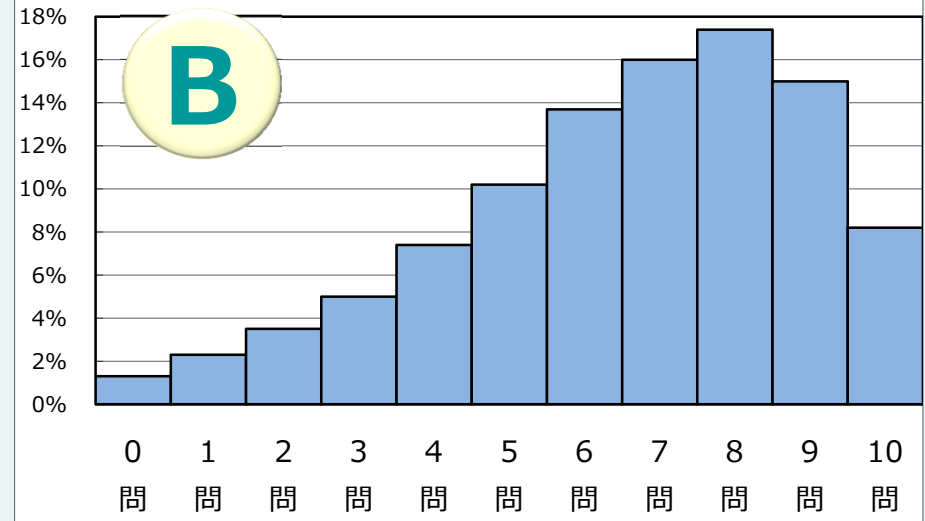
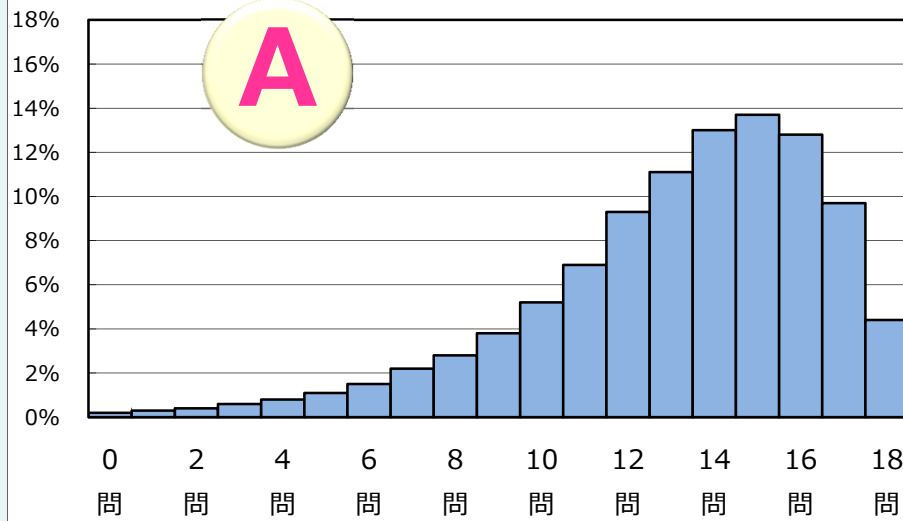
B	
全問題数	10問
正答率	65.5%
誤答率	31.2%
無解答率	3.3%

領域・観点・形式	平均正答率
話すこと・聞くこと	84.3%
書くこと	66.9%
読むこと	65.4%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.4%
関心・意欲・態度	84.3%
話す・聞く能力	84.7%
書く能力	66.9%
読む能力	65.4%
知識・理解・技能	73.4%
選択式	60.9%
短答式	80.8%
記述式	***

領域・観点・形式	平均正答率
話すこと・聞くこと	72.5%
書くこと	67.3%
読むこと	64.3%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	***
関心・意欲・態度	64.5%
話す・聞く能力	72.5%
書く能力	67.3%
読む能力	64.3%
知識・理解・技能	***
選択式	64.3%
短答式	69.3%
記述式	61.7%

小学校 第6学年 国語

平成24年度 大阪府学力・学習状況調査 ヒストグラム+レーダーチャート (府内公立)





小学校 第6学年 国語



	設問	正答率	誤答率	無回答率
1	1-ア	85.8	11.5	2.7
2	1-イ	57.8	39.5	2.7
3	1-ウ	92.2	6.4	1.4
4	2-ア	89.5	8.1	2.4
5	2-イ	91.2	6.4	2.4
6	2-ウ	84.9	10.7	4.4
7	3-1	80.1	10.6	9.3
8	3-2	53.9	41.0	5.1
9	4-ア	73.7	25.3	1.0
10	4-イ	30.8	68.4	0.8
11	4-2	84.9	11.2	3.9
12	4-3	56.4	42.9	0.7
13	5-1	82.8	16.3	0.9
14	5-2	86.7	12.0	1.3
15	6-1	85.9	10.2	3.9
16	6-2	47.9	47.2	4.9
17	7	84.2	10.6	5.2
18	8	46.5	45.2	8.3

	設問	正答率	誤答率	無回答率
1	1-一	75.4	23.1	1.5
2	1-二	59.7	39.6	0.7
3	2-一	61.8	33.1	5.1
4	2-二	85.6	9.8	4.6
5	2-三	70.1	29.0	0.9
6	3-一	63.0	36.2	0.8
7	3-二	63.8	29.9	6.3
8	3-三	82.0	15.1	2.9
9	3-四	52.3	41.1	6.6
10	四	41.3	55.3	3.4



平成24年度 大阪府学力・学習状況調査
設問別調査結果 (府内公立)



文脈における意味を考えながら、同音異義の漢字を使い分ける



伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

短答式	正答率%	無回答率%
コウ成 (構成)	73.7	1.0
カン心 (関心)	30.8	0.8

全設問中、正答率が最も低い
2 (感謝) を選択した児童が60.2%

考えられる課題

- 同音異義語の違いを正確に理解したり、文脈に意味をあてはめて考えたりすること

◆ 指導にあたって

☆ 国語の学習だけではなく子どもたちの日常生活の様々な場面において、書く活動を取り入れて、文章を書く際に漢字の持つ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語に注意して書いたりするように指導する。

- コウ成**
- 1 彼は学コウの先生だ。
 - 2 太平洋をコウ海する。
 - 3 先生のコウ義はおもしろい。
 - 4 人体は複雑なコウ造をしている。
- カン心**
- 1 外国と友好カン係を結ぶ。
 - 2 卒業式にカン謝の言葉をおくった。
 - 3 新しい校舎がカン成した。
 - 4 植物のカン察日記をつける。

【学習指導要領との関連】

〔第5学年及び第6学年〕

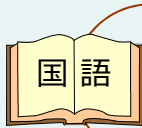
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

ウ 文字に関する事項

(ア) 第5学年及び第6学年においては、学年別配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと

わたしたちバスケットボールクラブは、二十人のメンバーでコウ成されています。わたしたちの強さの秘けつは、みんなで作戦を立てて試合にのぞむことです。バスケットボールにカン心がある人は、ぜひ体育館に見学に来てください。

カタカナで書かれた部分と同じ漢字を使うものを、1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。



文の構成や表現を確かめ、正しく推敲する。



書くこと

選択式	正答率%	無解答率%
A <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 二	47.9	4.9

各選択肢の反応率

- 1 **2.6%**
- 2 **31.8%**
- 3 **12.6%**
- 4 **47.9% (正答)**

考えられる課題

- 書き方のそろっていないところを書き直すという条件を設問から読み取ること

◆指導にあたって

☆ 目的や意図に応じて、事実と感想、意見などを詳しく書いたり、簡単に書いたりする指導をする。

☆ 課題の意図をとらえ、求められたことに答えられているかどうかを確認したり、記述の仕方を工夫したりするような指導を取り入れる。

太田さんが、「スイートポテトの作り方」を読み返してみると、作り方①～④の説明の中で書き方のそろっていないところが見つかりました。どのように書き直したほうがよいかを説明したものととして、もっともふさわしいものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 作り方①は、「だれが」という主語がぬけているので、「わたしが」という主語を書き足したほうがよい。

2 作り方②は、サツマイモを煮るための調理道具が書いていないので、「サツマイモをなべで煮る」と書いたほうがよい。

3 作り方③は、文が二つに分かれていてわかりにくいので、「から」という言葉でつなげて二つの文にしたほうがよい。

4 作り方④は、述語が「ます」となっているので、作り方①～③と同じように「入れる」「焼く」としたほうがよい。

スイートポテトの作り方

材料 (3人分)

- ・サツマイモ 1本
- ・バター 10グラム
- ・さとう 20グラム
- ・たまごの黄身 1つ

作り方

① サツマイモをあらって皮をむく。2センチのはばで輪切りにする。

☆ 注意

ア

② サツマイモを煮る。やわらかくなったら、ざるにあげてよく水気を切る。

③ サツマイモをつぶす。材料のバター、さとう、たまごの黄身を入れてよく混ぜる。

☆ 注意

冷えてつぶしにくならないように、熱いうちにすばやくつぶす

④ 他の材料と混ぜたサツマイモを型に入れます。形を整えてから、焼き目がつくまでオーブントースターで10分から15分焼きます。

「スイートポテトの作り方」

A区分問題中
誤答率が2番目に高い

【学習指導要領との関連】

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

エ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。



物語文の登場人物の心情について、表現や叙述に即して読む。



読むこと

選択式	正答率%	無解答率%
A 8	46.5	8.3

各選択肢の反応率

1	32.0%
2	46.5% (正答)
3	7.1%
4	6.0%

◆指導にあたって

- ☆登場人物の行動や性格を場面の展開に即して読ませるようにする。
- ☆地の文や行動、会話などの叙述を基に想像しながら読み、文章全体の構成をつかませることが効果的である。
- ☆自分の経験と結び付けたり、叙述から想像されることを表現しあったりして、物語の世界を具体的に感じ取っていくような指導をすることが重要である。

(問い)
この文章に表れているブーボの気持ちとして、もっともふさわしいものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

1 おどろおどろしに泉のある狩り場をうばわれたことを残念に思う気持ち。
2 若くしてわしに泉のある狩り場をあらされた自分をくやしき思い、強がっている気持ち。
3 話し相手だったならの木がすっかり年老いたことが腹立たしく、がっかりした気持ち。
4 若くしてわしに泉のある狩り場をあらされた木を守りぬいたことを喜び、うれしく思う気持ち。

A区分選択式の問題中
無回答率が一番高い。

設問中にある一部の言葉だけを
とらえてしまっている児童が32.0%
いる。

考えられる課題

- 文章全体に表れている登場人物の気持ちをとらえていなかったり、全体を通して登場人物の行動や会話に即して読んだりすること。

【学習指導要領との関連】

〔第5学年及び第6学年〕

C 読むこと

ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。



説明文の流れをとらえ、正しい場所に一文を追加する。



書くこと 読むこと

選択式	正答率%	無解答率%
B <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 二	59.7	0.7

B区分選択式の問題中
正答率が最も低い

各選択肢の反応率

ア **59.7%** (正答)

イ **7.3%**

ウ **22.5%**

エ **9.6%**

考えられる課題

- 文章に書かれている内容や、文章全体の構成の仕方を
読むこと。

◆ 指導にあたって

☆ 文章を読む際には、文脈を追って言葉の意味をとらえなが
書き手が文章で取り上げている内容や考えの中心となる事柄
や、接続詞、キーワード、キーセンテンスに着目して全体の
流れをつかむことや、要旨をとらえさせるようにする。

次の文は、文中の【ア】から【エ】のどこに入れるのがよ
いでしょうか。もっともふさわしい場所を選んで、その
記号を書きましよう。

その不思議ななぞを解くカギは、カマキリの卵の冬越
しにあります。

【ア】 私の住む新潟では、カマキリの産卵が始まるのは、不思議と初雪
の降る九〇日前ごろです。毎年、その時期をはかったかのように産
卵を始めます。なぜでしょうか。

カマキリの卵は、あまり早く産み付けられると、秋が暖かい年
は、冬が来る前にふ化することがあります。ふ化した幼虫は、冬の
訪れとともに寒さのために弱ってしまい、アブラムシなどいなく
なるため、食べるエサもありません。そのため、せっかく生まれても
全滅してしまうのです。

【イ】 では、遅く産めばよいかというと、今度は、親カマキリがぎびしく
なる冬の寒さで弱ってしまいます。

寒さに耐えられたとしても、やはりエサの確保に困り、卵を産む前
にほとんど飢え死にしていまいます。

【ウ】 カマキリの産卵は早くてもだめだし、遅くてもだめ。ちょうどよい
時期に産卵して冬を乗り切り、気温が上がるのにあわせて、ふ化す
るようにしなければいけません。

【エ】 このように、カマキリは産卵の時期を考えているように私には思
えてなりません。みごとな生命のバトンタッチだと思えます。

【学習指導要領との関連】

【第5学年及び第6学年】 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わる
ように書くこと。

【第5学年及び第6学年】 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、
事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしなが
ら読んだりすること。

参考

目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く。



全国H24 A7

スイーツポテトの作り方

材料 (3人分)

- ・サツマイモ 1本
- ・バター 10グラム
- ・さとう 20グラム
- ・たまごの黄身 1つ

作り方

① サツマイモをあらって皮をむく。2センチのはばで輪切りにする。

☆ 注意

ア

② サツマイモを煮る。やわらかくなったらいざるにあげてよく水気を切る。

③ サツマイモをつぶす。材料のバター、さとう、たまごの黄身を入れてよく混ぜる。

☆ 注意

冷えてつぶしにくならないように、熱いうちにすばやくつぶす

④ 他の材料と混ぜたサツマイモを型に入れます。形を整えてから、焼き目がつくまでオーブントースターで10分から15分焼きます。

【スイーツポテトの作り方】の「作り方①」の「ア」の中に入るふさわしい内容を「作り方③」の口の書き方と同じように書きましょう。

第三小学校の新聞委員の内山さんは、学校の合唱部が活やくしていることを学校新聞の記事に書くことにしました。【学校新聞の記事の一部】の口の中に、【取材した内容の一部】の①から④までを一文にまとめて書きます。書き出しの言葉に続く内容を、二十字以上、三十字以内で書きましょう。

【取材した内容の一部】

① 合唱コンクールの県大会が、七月一日に開かれた。

② そのコンクールに、第三小の合唱部が出場した。

③ 第三小の合唱部は、そのコンクールで金賞に選ばれた。

④ 第三小の合唱部は、来月開かれる全国大会に出場することになった。

（メモが続く）

【学校新聞の記事の一部】

第三小の歌声 全国へ

県大会で金賞

七月一日、合唱コンクールの県大会に出場した本校合唱部が、

（記事が続く）

平成24年度
大阪府学力・
学習状況調査の正答率
85.9%

考えられる課題

- 必要となる事柄を整理して簡潔に伝えたり、伝えようとする内容の中心を明確にして書いたりすること

◆指導にあたって

☆相手が読んで理解しやすくするために、読み手の立場にたって文章を客観的に読み直すことや、書いた文章をお互いに読みあって、改善できる部分について書き直すなどの指導をする。

☆資料を写すだけではなく、5W1H（when「いつ」・where「どこで」・who「だれが」・what「何を」・why「なぜ」・how「どのように」）などの中から必要となる事柄を整理して簡潔に書くような指導をすることが効果的である。

短答式	正答率%	無解答率%
大阪府	40.9	8.9
全国	43.2	7.5

平成24年度全国学力・学習状況調査A区分問題中正答率は最も低い。



ポスターを作成する上で、必要だが不足している情報をとらえて書く。



書くこと 読むこと

短答式	正答率%	無解答率%
B 3 四	52.3	6.6

B区分問題中
無解答率は最も高い

- 考えられる課題
- 他の項目と比較して書き方をそろえて記述すること。
 - 固有名詞を適切に抜き出すこと。

- ◆指導にあたって
 - ☆文章や資料の内容から事実や感想、意見などを読み取って自分の表現に取り入れて書くような指導をする。
 - ☆書き出しや結びの言葉を工夫したりするような書き方の工夫について学んだり、複数の種類の文章や資料を集めて編集し、大見出しや小見出しをつけたりすることや、文章や資料の書き方を比較して書き方をそろえて書かせたりすることが効果的である。

【ポスター】

「ハスの花見学会」のお知らせ
ハスの花がさく季節がやってきます。ハスの花を見に行ってみませんか。

日にち：6月23日（土）から7月8日（日）まで
時 間：午前6時から午前8時まで

入場料：おとな300円
小学生以下無料



・場所：はにわ植物園
・場所：なにわ動物園

誤答率 20.5%

園長さんへのインタビュー

植物園でこれからのおすすめは何ですか。
「6月末から7月はじめごろにさくハスの花ですね。花が開くのは早朝だけなので、この時期は特別に、「ハスの花見学会」を開催します。今年は、6月23日（土）から7月8日（日）の午前6時から午前8時まで。入場料はおとな300円、小学生以下は無料です。見学される方は、なにわ植物園のハス池にお集まりください。」

石川さんは、園長さんへのインタビューから、学校や地いきの人に知らせるために、学校の正面げんかんにはる「ハスの花見学会」の「ポスター」を作りました。できあがった「ポスター」を先生に見てもらおうと、「大切な情報がめけているよ。」と言われました。「ポスター」の口の部分に、ほかの書き方とそろえてめけている情報を書きましよう。

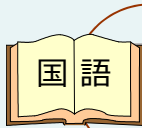
なにわ植物園 園長 中村光男さん

編集後記
遠足はとてよい天気です。気持ちよかったです。植物園には、きれいな水辺の植物がたくさんありました。園長さんのおすすめのハスの花見学会にはぜひ行ってみたいと思いました。

【学習指導要領との関連】

【第5学年及び第6学年】 B 書くこと
ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりすること。

【第5学年及び第6学年】 C 読むこと
ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読みたりすること。



必要な情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明する。



書くこと 読むこと

記述式	正答率%	無解答率%
B 四	41.3	3.4

【学習指導要領との関連】

【第5学年及び第6学年】 C 読むこと
ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかき出すこと。

考えられる課題

●書かれ方の異なる複数の資料の中の、ひとつひとつの項目を比較して、書かれている内容を読み取ること。

◆指導にあたって

☆複数の資料を比較していいに読み、資料の中に書かれている事実、感想、意見、説明などの情報を比べ、資料に書かれている内容から理由となる語句や文を抜き出して自分の考えを書くようにさせる。

青山さんは、国語の時間に書いた読書感想文をコンクールに出そうと思います。次の1から3のコンクールのうち青山さんが応募できるのはどれですか。1から3の中から一つ選び、そのコンクールを選んだ理由を、【青山さんについて】とコンクールの内容にふれながら、書き出しの言葉に続けて書きましよう。

3
なになわ新聞
夏休み読書感想文コンクール

- 応募資格
小学5年生以上ならどなたでも
- 対象図書
課題図書部門:「雨上がりのベンチ」
自由図書部門:自由に選んだ図書
- 応募条件
・400字の原稿用紙3枚以上
- 応募しめきり
平成24年9月15日までに
郵送でお送りください。

理由は、

選んだコンクール

1
大阪小学生作文コンクール

- 部門
感想文部門・作文部門
- 応募資格
大阪府に住んでいる小学生
- 応募条件
感想文部門:自由に選んだ図書
についての感想文
作文部門:学校じまんについての作文
- 応募しめきり
平成24年6月10日

2
作品募集
読書感想文全国コンクール

- 応募資格
小学校5、6年生
- 対象図書
「子ども電車」「天風の吹くとき」
「クジラと海とぼく」
- 応募条件
・原稿用紙に書いてください。
・文字数は1,000字以内です。
- 応募しめきり
平成24年7月20日まで

青山さんについて

- ・小学校六年生
- ・平成二十四年六月十一日に読書感想文を書いた
- ・読書感想文のテーマ「クジラと海とぼく」を読んで「四百字の原稿用紙二枚に書いた」

誤答率
38.8%

資料に書かれている内容を読み間違えて誤った理由を述べている。

B区分問題中正答率は最も低い。



参考

複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えを持つことができる。

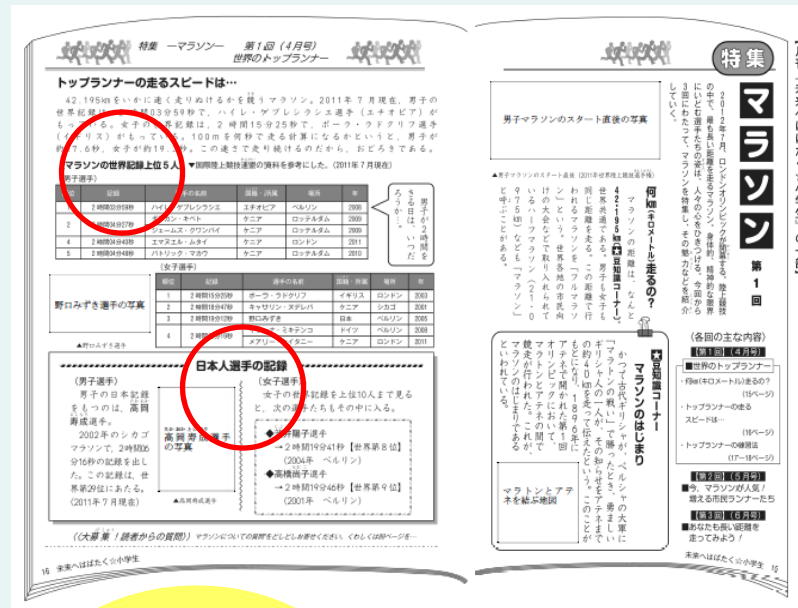
記述式	正答率%	無解答率%
大阪府	33.9	18.4
全国	37.7	17.0

平成24年度全国学力・学習状況調査 B区分記述式の問題中正答率は最も低い。

考えられる課題

- 複数の資料を比べて読み、理由を明確にして説明すること

△条件▽
 「マラソンの世界記録上位5人」と「日本人選手の記録」の二つの記事を結び付けながら読み、金子さんの考えの理由となる事実を、両方から取り出したり、まとめたりして書くこと



平成24年度
 大阪府学力・
 学習状況調査の正答率
 41.3%

全国H24 B3

3
 なにわ新聞
 夏休み読書感想文コンクール

- 応募資格
小学5年生以上ならどなたでも
- 対象図書
課題図書部門:「雨上がりのベンチ」
自由図書部門:自由に選んだ図書
- 応募条件
・400字の原稿用紙3枚以上
- 応募しめきり
平成24年9月15日までに
郵送でお送りください。

1
 大阪小学生作文コンクール

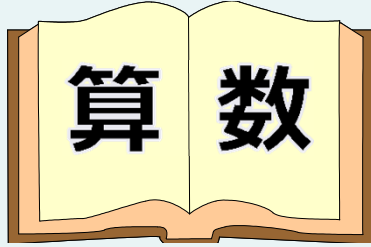
- 部門
感想文部門(作文部)
- 応募資格
大阪府に住んでいる小学生
- 応募条件
感想文部門:自由に選んだ図書
について感想文
作文部門:学校じまんについて
の作文
- 応募しめきり
平成24年6月10日

2
 作品募集
 読書感想文全国コンクール

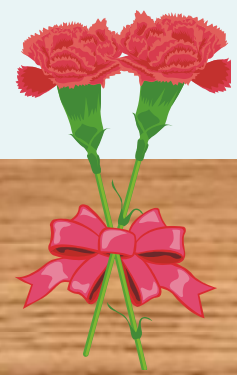
- 応募資格
小学校5、6年生
- 対象図書
「子ども電車」「天風の吹くとき」「クジラと海とぼく」
- 応募条件
・原稿用紙に書いてください。
・文字数は1,000字以内です。
- 応募しめきり
平成24年7月20日まで

- ◆ 指導にあたって
- ☆ 目的に応じて、複数の資料を選び、それらに関係付けて読ませるような指導を工夫する。
- ☆ 目的を明確にして、どのように関係付ければよいかを考えさせることが効果的である。

● 小学校 6 年生 ●



小学校
領域別
観点別
形式別
正答率一覧表
(府内公立)



分類
学習指導要領の 領域等
評価の観点
問題形式

A	
全問題数	18問
正答率	63.6%
誤答率	34.5%
無解答率	1.9%

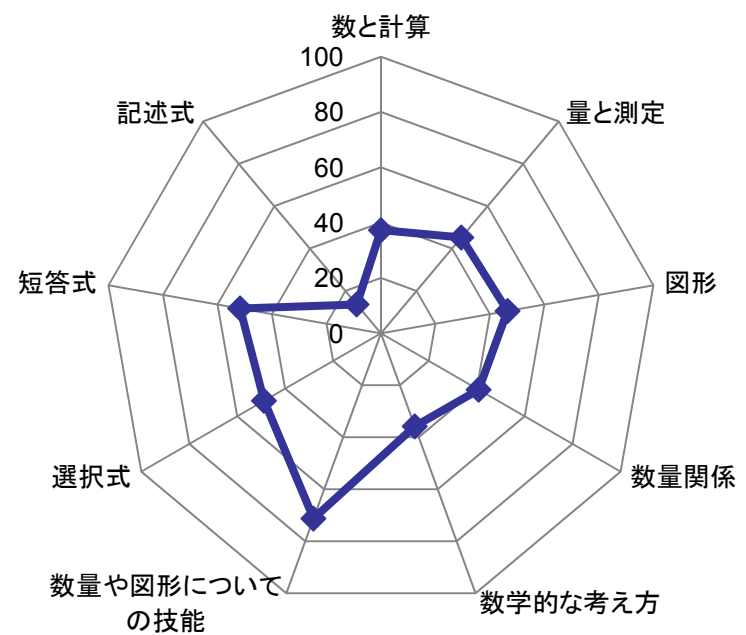
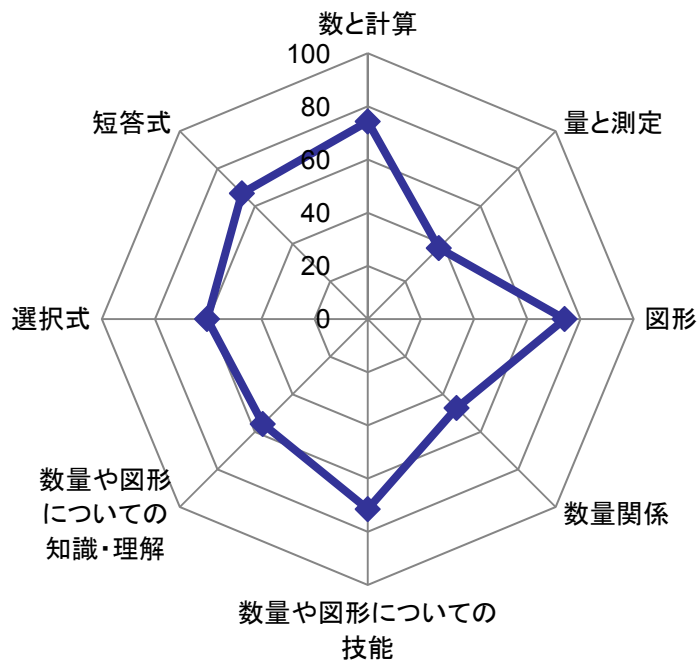
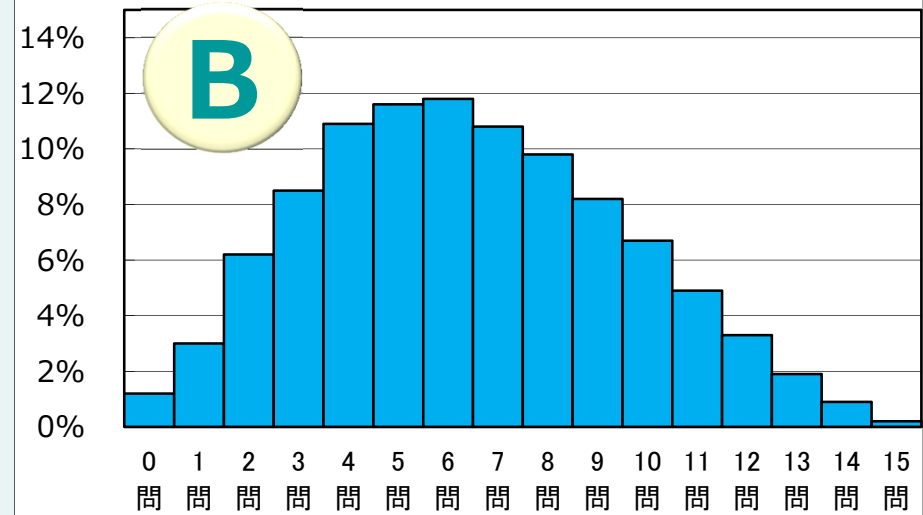
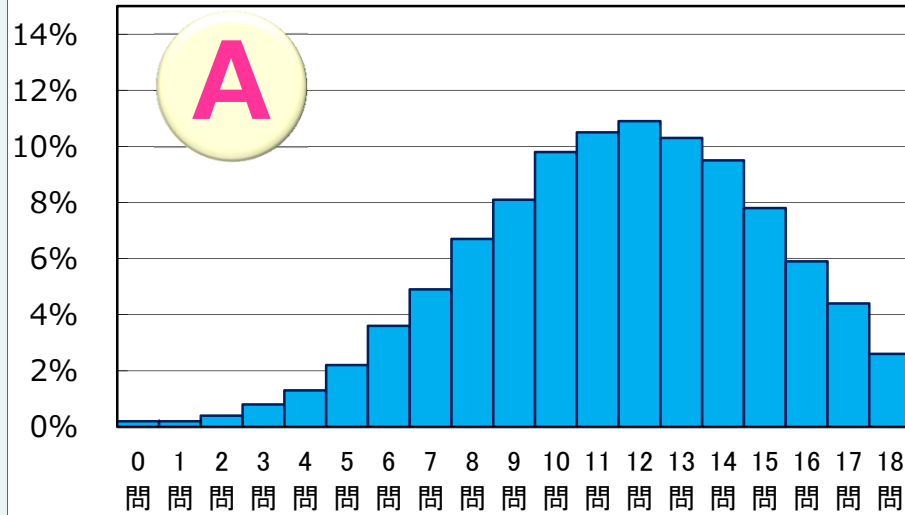
B	
全問題数	15問
正答率	42.9%
誤答率	53.2%
無解答率	3.9%

領域・観点・形式	平均正答率
数と計算	74.3%
量と測定	37.8%
図形	74.1%
数量関係	47.3%
関心・意欲・態度	***
考え方	***
技能	71.5%
知識・理解	55.8%
選択式	60.4%
短答式	66.9%
記述式	***

領域・観点・形式	平均正答率
数と計算	37.3%
量と測定	45.2%
図形	46.5%
数量関係	40.8%
関心・意欲・態度	***
考え方	35.8%
技能	71.3%
知識・理解	***
選択式	48.8%
短答式	51.7%
記述式	13.6%

小学校 第6学年 算数

平成24年度 大阪府学力・学習状況調査 ヒストグラム+レーダーチャート (府内公立)



A

小学校 第6学年 算数

B

	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	73.9	25.8	0.3
2	1(2)	71.5	26.5	2.0
3	1(3)	87.5	11.9	0.6
4	1(4)	82.5	14.9	2.6
5	1(5)	88.6	10.2	1.2
6	1(6)	59.2	40.0	0.8
7	2(1)	90.2	9.2	0.6
8	2(2)	85.1	12.6	2.3
9	2(3)	38.9	60.3	0.8
10	2(4)	49.9	48.4	1.7
11	3	33.2	66.3	0.5
12	4	41.5	57.2	1.3
13	5	38.6	60.0	1.4
14	6(1)	93.9	5.2	0.9
15	6(2)	72.8	25.7	1.5
16	7	55.6	42.3	2.1
17	8	62.0	35.3	2.7
18	9	20.6	67.8	11.6



	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	73.0	25.6	1.4
2	1(2)	19.2	75.2	5.6
3	1(3)	58.4	40.0	1.6
4	2(1)	63.1	35.9	1.0
5	2(2)	37.7	59.0	3.3
6	2(3)	25.9	70.3	3.8
7	3(1)	63.0	36.5	0.5
8	3(2)	32.8	66.3	0.9
9	3(3)	9.0	89.1	1.9
10	4(1)	41.5	56.9	1.6
11	4(2)	47.6	46.6	5.8
12	4(3)	22.6	72.1	5.3
13	5(1)	59.4	38.4	2.2
14	5(2)	77.8	17.3	4.9
15	5(3)	12.6	68.1	19.3

平成24年度 大阪府学力・学習状況調査
設問別調査結果 (府内公立)

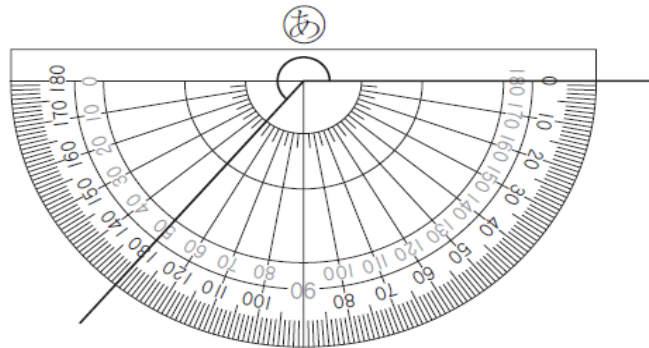


角度について、単位と測定の意味を理解して、角の大きさを測定できる



数量や図形についての技能

A **3** 次の(あ)の角の大きさは何度でしょうか。



考えられる課題
● 角度の測定について、求め方を筋道立てて考え処理すること

短答式	正答率%	無解答率%
A 3	33.2	0.5

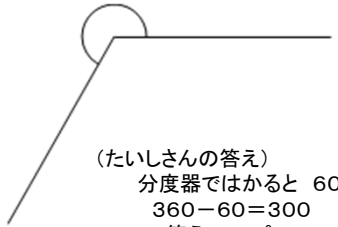
【学習指導要領との関連】
 [第4学年] B 量と測定
 (2) 角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさの測定ができるようにする。
 イ 角の大きさの単位(度(°))について知ること。

約60%の児童が、測定した値のまま130° または、50° と解答
分度器で角の大きさは測れているが、その値を用いて計算し処理することができていない

- ◆ 指導にあたって
- ☆ 角の大きさによって、測定した値を使って計算し与えられた角の大きさを求めなければならないことを理解させる指導の充実を図る。
- ☆ 子ども自身で求め方を筋道立てて考え、答えを求めることができるような活動を取り入れる。

参考 教材例

1. たいしさんは、次の角度をはかったのですが、友だちにまちがえていると言われました。何回はかっても、分度器のめもりは、60° をさしています。何がまちがえているのでしょうか。たいしさんのまちがえを教えてください。また、正しい答えを求めましょう。



(たいしさんの答え)
 分度器ではかると 60°
 $360 - 60 = 300$
 答え 300°

『学習指導ツール』 単元別テスト・小学校算数・4年「角」より



数量や図形についての知識・理解

A 5



北公園の砂場



南公園の砂場

公園の面積と人数

	面積 (m ²)	人数 (人)
北公園の砂場	40	8
南公園の砂場	24	6

2つの砂場のこみぐあいを1m²あたりの人数で求めることにしました。それぞれの公園の砂場の説明として正しいものを、次のア~エのうちから1つ選び、記号で答えましょう。

誤答の反応率

ア 北公園は $40 \div 8 = 5$ 、南公園は $24 \div 6 = 4$ だから、北公園が込んでいる。

32.0%

イ 北公園は $40 \div 8 = 5$ 、南公園は $24 \div 6 = 4$ だから、南公園が込んでいる。

16.6%

ウ 北公園は $8 \div 40 = 0.2$ 、南公園は $6 \div 24 = 0.25$ だから、北公園が込んでいる。

10.8%

エ 北公園は $8 \div 40 = 0.2$ 、南公園は $6 \div 24 = 0.25$ だから、南公園が込んでいる。

選択式	正答率%	無解答率%
A 5	38.6	1.4

【学習指導要領との関連】

【第5学年】 B 量と測定

(4) 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表し方を理解できるようにする。

ア 単位数当たりの大きさについて知ること。

1m²あたりの人数ではなく、1人あたりの面積を求めている児童が 48.6%

考えられる課題

- 単位数当たりの大きさについての意味理解
- 立式が数の大小に左右され、何を求めるために立式したのか、何をもとにする量として立式したのかなどが意識できていないこと

◆指導にあたって

☆ 日常的な体験をもとに単位数当たりの考え方を理解させる活動を取り入れる。

☆ 1m²あたりの人数、1人あたりの広さの両方の求め方を比較するなど、単位数当たりの考え方を深める指導の充実を図る。

☆ 何を求めるために立式するのか、計算の結果が何を表しているのかを常に意識させる指導の充実を図る。

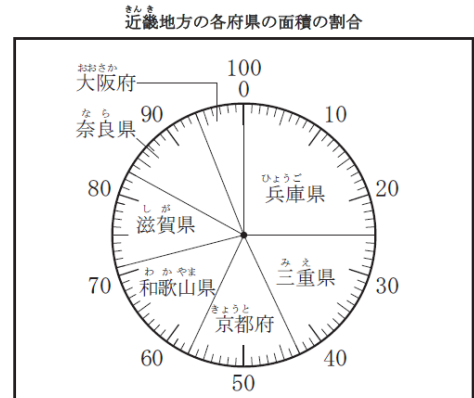
割合の求め方を理解している



数量や図形についての知識・理解

全国H20 A9

A9



近畿地方の全体の面積 約 33000 km²
(国土交通省 国土地理院ホームページによる)

大阪府の面積は約何km²になりますか？面積を求める式をかきましょう。ただし、答えを計算する必要はありません。

短答式	正答率%	無解答率%
A9	20.6	11.6

A問題で最も正答率が低く、無解答率が高い。

【学習指導要領との関連】
 [第5学年] D 数量関係
 (3) 百分率について理解できるようにする。

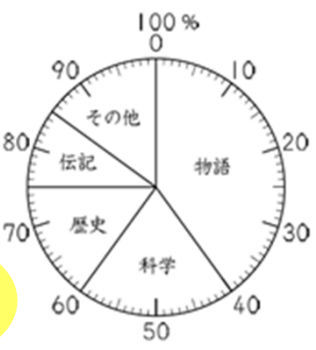
あきさんの学校で、3月に貸し出された本を調べました。下の円グラフは、貸し出された本の冊数の種類別の割合を表したものです。

- (1)「科学」の本の冊数の割合は、全体の何%ですか。答えを書きましょう。
- (2)3月に貸し出された本の冊数は620冊で、そのうち、「物語」の本の冊数の割合は、全体の40%です。「物語」の本の冊数は何冊ですか。求める式と答えを書きましょう。

正答率 91.0%

正答率 55.5%

3月に貸し出された本の冊数の種類別の割合



考えられる課題

- グラフから、必要な情報を読み取り、処理すること
- 割合の意味を理解し、割合に当たる大きさを求めること

◆指導にあたって

- ☆表やグラフなどから、必要な情報を読み取り、処理する場面を設定する。
- ☆割合の意味理解の定着を図り、割合(%)は□/100であるということ意識させ、「部分の量 = 全体の量 × 割合」になることなどの処理ができるように指導の充実を図る。
- ☆問題の場面から、全体の量と部分の量を的確にとらえ、全体の量、部分の量、割合の関係を図に表わしたり□を用いた式で表したり、数量関係を捉える活動を取り入れる。

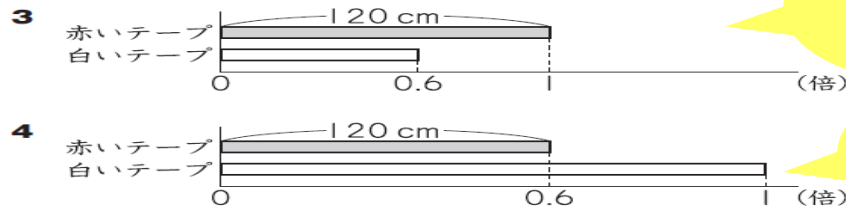


全国H24 A3

赤いテープと白いテープの長さについて、次のことがわかっています。

赤いテープの長さは120 cmです。
赤いテープの長さは、白いテープの長さの0.6倍です。

(1) 赤いテープと白いテープの長さの関係を正しく表している図はどれか。



反応率(誤答)
51.4%

反応率(正答)
34.4%

(2)
 120×0.6

反応率(誤答)
47.0%

$120 \div 0.6$

反応率(正答)
43.2%

白いテープが0.6になる図(誤答)を51.4%の児童が選択

◆指導にあたって

- ☆基準量、比較量、割合の意味を理解する指導の充実を図る。
- ☆図から数量関係を読み取ったり、数量関係を図や□を用いた式で表したりする場面を設定する。
- ☆「AはBの○倍⇔BはAの◎倍」と言いかえるなど数量関係を適切にとらえる活動を取り入れる。

【学習指導要領との関連】

〔第5学年〕 A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。

ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

選択式 短答式	正答率%	無解答率%
A <input type="checkbox"/> 3 (1)	34.4	1.4
A <input type="checkbox"/> 3 (2)	43.2	3.2

数量や図形について
の技能

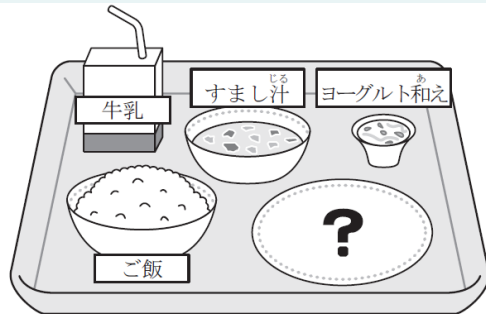


条件を満たすように組み合わせを判断し、その説明をすることができる



数学的な考え方

B 1 (2)



来月の給食のメニューを決めようと思います。下の図の4品まで決まり、主菜を「ハンバーグ302kcal」「肉じゃが126kcal」のどちらかから選ぶことになりました。給食一食分に必要な熱量からみて適当な主菜を選びましょう。また、左の表と棒グラフからわかることをもとに計算した数値を比べ、その理由をかきましよう。

記述式	正答率%	無解答率%
B 1 (2)	19.2	5.6

【学習指導要領との関連】
 [第3学年] D 数量関係
 (3) 資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする。
 ア 棒グラフの読み方やかき方について知ること。

考えられる課題

- 条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく記述し説明すること

正答率は19.2%だが、ハンバーグを選択した児童は、全体の 70.6%。計算した数値や選んだ理由の記述が不十分なため、誤答となっている。

- ◆指導にあたって
 - ☆自分が導き出した結果について、相手に伝わるように表現する活動を取り入れる。
 - ☆記述に必要な条件を明確にするために、不十分な記述について話し合い、よりよい記述になるように検討する活動を取り入れる。
 - ☆条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく説明できる指導の充実を図る。

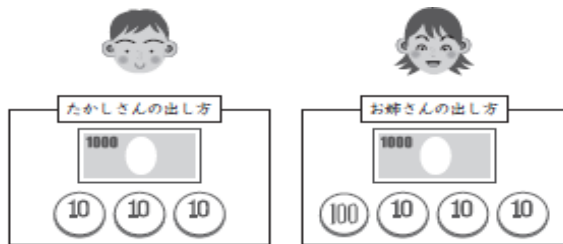


参考

場面の状況や問題の条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく記述する

全国H24 B1

(2) 品物の代金は630円でした。



たかしさんとお姉さんの出し方では、お姉さんのほうがおつりの硬貨の枚数が少なくなると考えられます。

お姉さんの出し方のほうが少なくなると考えられるわけを、2人のおつりの硬貨の種類と枚数を比べて、言葉と数を使って書きましょう。

記述式	正答率%	無解答率%
大阪府	45.3	5.7
全国	42.5	5.6

記述式で全国の正答率を上回る

数学的な考え方

一方の処理の方が合理的である理由を言葉と数を用いて記述する



説明のために、たかしさんと姉、両方のおつりの硬貨の種類と枚数を記述し説明する必要

枚数だけ、金額だけ、たかしさんについてだけ、姉についてだけ、など

説明が不足している

◆指導にあたって

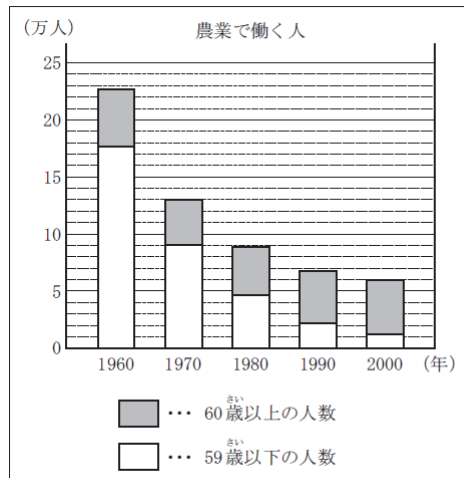
☆不十分な記述を提示して、「この解答で二人の考えを比べたことになっているか」などを話し合い、記述に必要な条件を明確にしてよりよい記述へと不十分な部分を書き加える活動を取り入れる。

記述が不十分な誤答率
25.3%



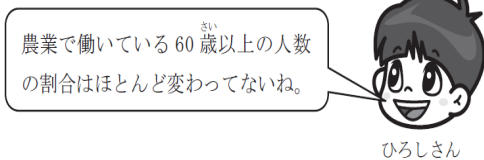
数学的な考え方

B 3 (3)



(農林水産省ホームページによる)

「農業で働く人の総数」に対する「60歳以上の人数」の割合の変化について、左のグラフをみて、ひろしさんは次のように言いました。



ひろしさんの言っていることは、正しいですか。「正しい」か「正しくない」かのどちらかを○で囲みましょう。また、その理由を言葉や式を使ってかきましょう。

全設問中、最も正答率が低い。「正しい」を選択した児童が、64.6%

【学習指導要領との関連】
 【第5学年】 D 数量関係
 (3) 百分率について理解できるようにする。
 (4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりすることができるようにする。

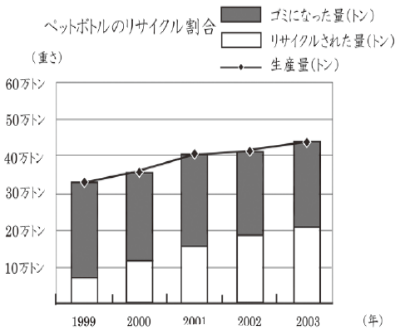
考えられる課題
 ● 割合についての意味理解があいまいで、数量の変化との区別がついていないこと

記述式	正答率%	無解答率%
B 3 (3)	9.0	1.9

- ◆ 指導にあたって
- ☆ 割合の変化と、数量の変化を区別して認識する指導の充実を図る。
- ☆ グラフから必要な情報を読み取り、読み取ったことを複合的に判断し表現する活動を取り入れる。

府H23 B4

(2) 「生産量」に対する「ゴミになった量」の割合の変化について、このグラフからどのようなことがわかりますか。次のア～ウのうち、1つ選んでその記号をかきましょう。また、その記号を選んだ理由をかきましょう。



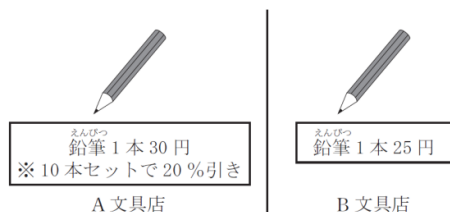
正答率 6.1%

- ア「ゴミになった量」の割合は増加している。
- イ「ゴミになった量」の割合は変化していない。
- ウ「ゴミになった量」の割合は減少している。



数学的な考え方

B 4 A文具店の値札を見て10本セットの代金を次のように計算しました。



式
④
えんぴつ 鉛筆 10本買ったときのねだんは300円。そこからねだんの20%分を引いて代金を求める。

(1) ④にあてはまる式として考えられるものを、次のア～エのうちから正しいものを1つ選び、記号で答えましょう。

- ア. $300 - 0.2$
- イ. 300×0.2
- ウ. $300 - 300 \times 0.2$
- エ. $300 - 300 \times 20$

◆指導にあたって

☆「300円の20%引き」は「300円の20%を引くこと」さらには「 300×0.2 を引くこと」と、段階を経て理解できるように指導する。

☆一連の求め方を、自分で筋道立てて考え立式する活動を取り入れる。

☆考えに基づいて立式する力を育てるために、立式をするときに考えた筋道やその式によって何が求められるかを説明する機会をできるだけ多く取り入れる。

「20%の値を求める」と「全体から引く」という2つの手順のうち、1つの手順だけの式を選択した児童が、52.1%

考えられる課題

- 求め方を筋道を立てて考えること

選択式	正答率%	無解答率%
B 4(1)	41.5	1.6

【学習指導要領との関連】

〔第5学年〕 A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それを計算などに有効に用いることができるようにする。

イ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

D 数量関係

(3) 百分率について理解できるようにする。

● 中学校 3 年生 ●



中学校

領域別
観点別
形式別
正答率一覧表
(府内公立)



結果分析 / DATA編

分類
学習指導要領の 領域等
評価の観点
問題形式

A	
全問題数	32問
正答率	65.1%
誤答率	29.6%
無解答率	5.3%

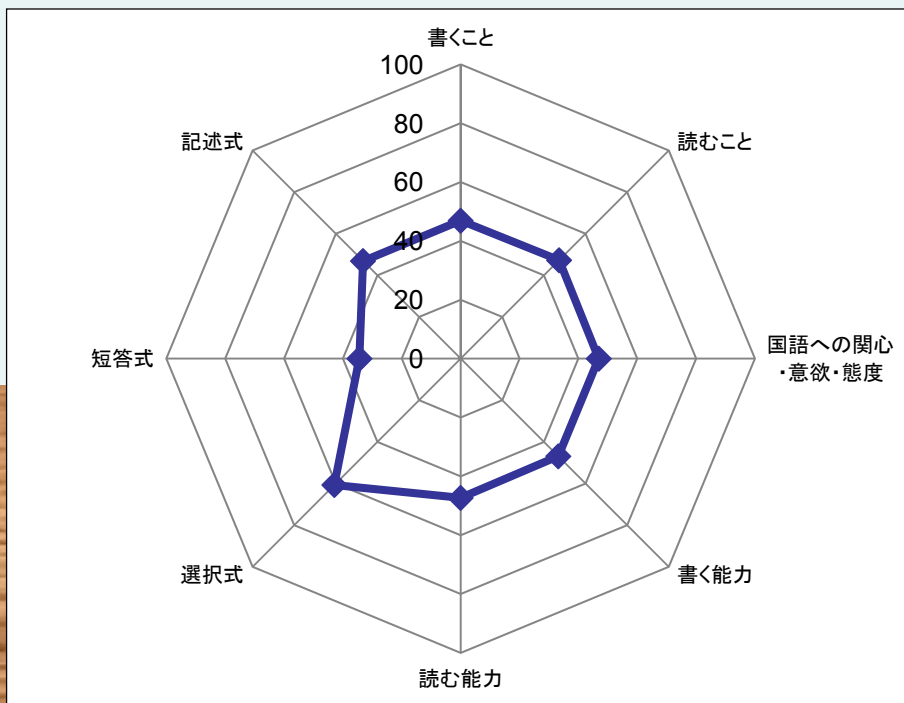
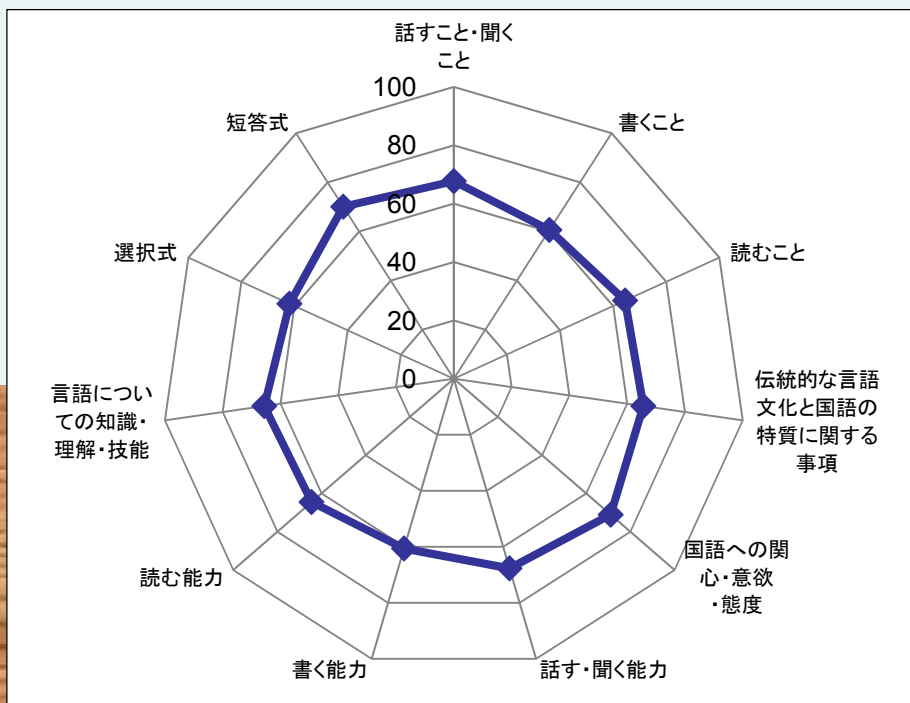
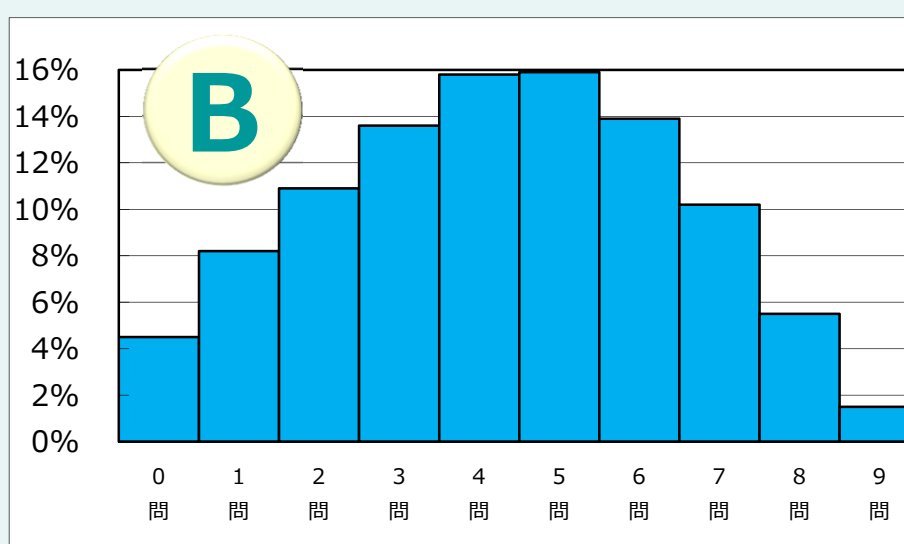
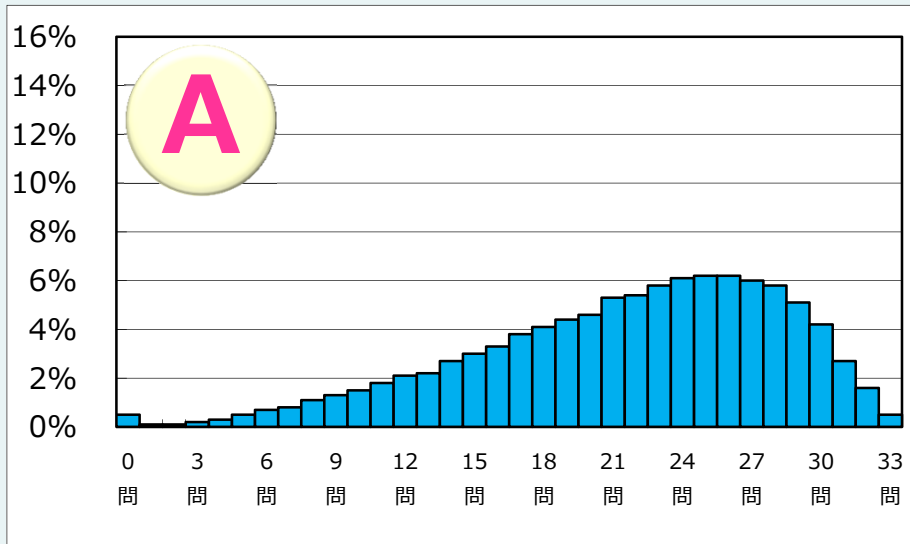
領域・観点・形式	平均正答率
話すこと・聞くこと	67.7%
書くこと	60.6%
読むこと	64.5%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.6%
関心・意欲・態度	71.1%
話す・聞く能力	67.7%
書く能力	60.6%
読む能力	64.5%
知識・理解・技能	65.6%
選択式	61.9%
短答式	70.1%
記述式	***

B	
全問題数	10問
正答率	47.3%
誤答率	39.2%
無解答率	13.2%

領域・観点・形式	平均正答率
話すこと・聞くこと	***
書くこと	46.9%
読むこと	47.3%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	***
関心・意欲・態度	46.9%
話す・聞く能力	***
書く能力	46.9%
読む能力	47.3%
知識・理解・技能	***
選択式	60.7%
短答式	34.4%
記述式	46.9%

平成24年度 大阪府学力・学習状況調査 ヒストグラム+レーダーチャート (府内公立)

中学校 第3学年 国語





中学校 第3学年 国語



	設問	正答率	誤答率	無解答率
1	1一ア	63.0	36.4	0.6
2	1二イ	63.5	35.8	0.7
3	1三ウ	61.7	31.4	6.9
4	1四エ	82.9	16.4	0.7
5	1五サ	49.3	49.9	0.8
6	1六才	64.4	34.8	0.8
7	1七セ	76.8	22.4	0.8
8	1八カ	75.8	23.3	0.9
9	1九ス	43.9	54.8	1.3
10	1十キ	93.7	4.6	1.7
11	1十ク	82.4	13.7	3.9
12	1十ケ	96.3	2.0	1.7
13	1十一コ	81.4	10.8	7.8
14	1十一シ	59.6	25.8	14.6
15	1十一ソ	25.2	36.7	38.1
16	2一	79.1	19.9	1.0
17	2二	85.7	6.0	8.3
18	2三	54.1	44.8	1.1

	設問	正答率	誤答率	無解答率
19	3一	67.8	31.1	1.1
20	3二	62.3	36.5	1.2
21	3三	78.3	16.7	5.0
22	4一	64.5	26.8	8.7
23	4二	68.9	29.7	1.4
24	4三	70.2	28.5	1.3
25	5一	65.6	31.9	2.5
26	5二	47.4	42.2	10.4
27	5三	68.8	16.0	15.2
28	6一	57.4	40.2	2.4
29	6二	72.5	24.9	2.6
30	7一	43.1	53.7	3.2
31	7二	66.0	12.1	21.9
32	7三	49.1	47.6	3.3
33	8	29.1	67.5	3.4

	設問	正答率	誤答率	無解答率
1	1一	68.1	31.1	0.8
2	1二	71.7	15.2	13.1
3	1三	66.5	14.2	19.3
4	2一	54.2	44.2	1.6
5	2二	11.7	66.2	22.1
6	2三	30.8	42.5	26.7
7	3一	19.7	54.8	25.5
8	3二	59.9	37.3	2.8
9	3三	43.6	46.6	9.8



平成24年度 大阪府学力・学習状況調査
設問別調査結果（府内公立）



漢字の読み書き・語句に関する問題



伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 漢字

文脈における漢字の読み書き

A 1 十・十一	種別	正答率%	無解答率%
特性	読み	93.7	1.7
練りながら	読み	82.4	3.9
適度	読み	96.3	1.7
役割	書き	81.4	7.8
成分	書き	59.6	14.6
創意工夫	書き	25.2	38.1

考えられる課題

- 学習した漢字の定着
- 日常の使用語彙としての定着
- 同音異義語や多義的な意味を示す語句を正しく使い分けること

「創意工夫」

A 区分問題中 最も正答率が低く、最も無解答率が高い

文脈における漢字の選択

A 1 八・九	正答率%	無解答率%
(「生産」の)「生」	75.8	0.9
(「採られ」の)「採」	43.9	1.3

文脈における語句・漢字の意味の選択 (辞書の活用)

A 1 四・五	正答率%	無解答率%
(「光沢」の)「沢」	82.9	0.7
「伸びる」	49.3	0.8

主な誤答例 「総意工夫」「草育風」

◆ 指導にあたって

- ☆ 漢字を一字一字正確に書くだけでなく、文脈に即して使えるよう、実際に漢字を書く機会を多くしたり、漢字を用いた短い文を書かせたりするなど指導を工夫する。
- ☆ 同音異義語や多義的な意味を持つ語句について、語の成り立ちや熟語の構成について考えさせたり、同訓の漢字を対比してその用法について具体的に熟語を例に挙げさせたりする。
- ☆ 辞書を活用して意味や用法を整理してとらえさせ、語句を意味理解し適切に使用させる。



複数の資料を関連付けて必要な情報を書く



書くこと

【学習指導要領との関連】
 【第1学年】 B 書くこと
 (1) ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

短答式	正答率%	無解答率%
A 5	47.4	10.4

「書くこと」を問うA区分問題中
 正答率が最も低く、誤答率が最も高い

【主な誤答例】
 「生徒会室前に置いてください」

考えられる課題
 ● 伝えるべき内容について整理して書くこと

- ◆ 指導にあたって
 - ☆ メモの役割を十分に理解させ、そのメモを相手や目的に応じて活用する方法を考えさせる。
 - ☆ メモの言葉をそのまま活用するのではなく、内容を整理した上で伝えたいことを明確にして書かせる。

【ちらし】

なんでもパフォーマンス・ステージ 出場者募集

ふだんからいろいろなことではがんばっているみなさん、成果を発表!

◆ 曜日・時間
毎週水曜日 昼休み (13:00~13:15)

◆ 場所
体育館の舞台

◆ 内容
体育館の舞台でできるもの
持ち時間は、1グループあたり5分
楽しく盛り上げられるもの、感動できるもの
(例) 歌や演奏、コント、ダンスなど

【注意事項】
人を喜ばせる内容であること
安全な内容であること

◆ 申し込み方法
発表を希望する週の2週間前までに申込用紙を生徒会に提出してください。
申込用紙は 。
みなさん、どしどし申し込んでください!

清山中学校生徒会

【メモ】

昼休みをもっと楽しくするために
 がんばっている人が、日ごろの成果をステージで発表。
 1グループ5分以内。
みんなが楽しいひとときを過ごせる場を作る。
 ↑
 ・楽しく盛り上げられるものや、感動できるものがい。
 ・危ないこと、人を傷つけることはダメ。
 ・たとえば、歌、演奏、コント、ダンスなど。

タイトル=「なんでもパフォーマンス・ステージ」

申込用紙を生徒会に提出。
 ・書記が作る。
 ・生徒会室の前に置く。

発表してもらうかどうか、生徒会で決める。
 迷ったら、生徒会こまんの先生に相談。

申し込みがないとき、他の行事があるとき。
 → 開催しない。

● 毎週水曜日 昼休み 13時から 15分間
 場所：体育館（舞台で発表）

A
5

石田さんは生徒会書記
 をしています。生徒会では
 昼休みを利用して開催する
 「なんでもパフォーマンス・ス
 テージ」について話し合いま
 した。石田さんは話し合っ
 たことの【メモ】をもとにし
 て、全校生徒に対して出場
 者募集を呼びかける【ちら
 し】を作りました。次の【メ
 モ】と【ちらし】を読んで、あ
 との問いに答えなさい。

二【ちらし】の
 に入る言葉を【メモ】
 をもとにして答えなさい



文章全体の構成をとらえる



読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第2学年〕 C 読むこと

(1) イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。

選択式	正答率%	無解答率%	誤答率%
A 7	43.1	3.2	53.7

「読むこと」を問う A 区分問題中
正答率が最も低く、誤答率が最も高い

考えられる課題

●文章全体と部分との関係として、各段落が文章全体の中で果たす役割をとらえること

「③と④の間」と解答している生徒が17.4%

→ ③段落最後の「結果が得られました」と挿入段落一文目「結果です」が共通していることを手がかりにしたと考えられる。

- ①まず…
- ②多くの…
- ③関西…
- ④9は…
- ⑤4と7…
- ⑥このように…
- ⑦この問題の…

正順に一番多い「いち、に、さん、し、ご、ろく、なな、はち、きゅう（くつ）、じゅう」という発音は、すべての数字を音読みした結果です。一方、逆順でもこの読み方は基本的に守られています。4と7のところがだけが、「よん」「なな」という訓読みが変わってしまいます。どうして4と7だけ、しかも逆順にだけ訓読みが出てくるのか、これが問題です。

- 4 3 2 1
- ⑥と⑦の間
- ⑤と⑥の間
- ④と⑤の間
- ③と④の間

「次の段落は、本文中のどこに入れるとよいですか。最も適切なものを、あとの1から4の中から選びなさい。」

A 7

◆指導にあたって

☆文章全体と部分との関係として、各段落が文章全体の中で果たす役割について考えさせる。

☆指導法として、文章の一部を取り出してどの部分に当てはまるかを考えさせたり、異なる文章表現を提示し効果を比較させたりするなど、書き手の表現の工夫や叙述の意図を考えさせることが有効である。



行書の基礎的な書き方を理解する



伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 書写

4 3 2 1

アアアア

筆順の変化
点画の省略

イイイイ

点画の連続
点画の省略
筆順の変化

和田さん「行書の『草』の漢字は○の部分に(ア)が見られます。」
川上さん「行書の『原』の漢字は○の部分に(イ)が見られます。」



楷書と行書で書かれた「草原」という漢字を見て、行書の特徴について、和田さんと川上さんが話しています。次の(ア)と(イ)にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4の中から選びなさい。

A

8

【学習指導要領との関連】

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(2) 書写に関する事項

イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。

選択式	正答率%	無解答率%
A 8	29.1	3.4

A区分問題中
正答率が2番目に低い

◆指導にあたって

☆ 同じ文字の楷書と行書とを比較し、点画の丸みを帯びること、点画が連続したり省略したりすること、筆順が変わることなど、楷書より速く書ける行書の特徴に気付かせ理解させるようにする。

考えられる課題

- 楷書と比較した行書の特徴についての理解
- 書写における「筆順の変化」「点画の連続」「点画の省略」などの言葉の意味理解



目的に応じて要旨をとらえる



読むこと

【学習指導要領との関連】
 [第1学年] C 読むこと
 (1) イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

短答式	正答率%	無解答率%	誤答率%
B 2	11.7	22.1	66.2

B区分問題中 正答率が最も低く誤答率が最も高い

正答 「地理的に伝わる」
 誤答例 「メディアの力」「空からばらまく」「じわじわ広がった」30.1% 「メディアを通して広がった」12.4%
 上記以外 23.7%

- 考えられる課題
- 要旨をとらえること
 - 複数の資料を関連付けて考えること

B 2

次の、大阪で生活する太田さんと石川さんの会話や資料を読んで、あとの問いに答えなさい。

【参考文献】
 二【参考文献】の「方言圏論」が説明している方言の伝わり方は、【資料1】のどの部分にあてはまりますか。八字以内で抜き出して、答えなさい。ただし、句読点は字数にふくめず。

太田
 きのうの国語の授業で、方言と（小林隆「方言が明かす日本語の歴史」より）共通語のことを学習したでしょう。他の地方の方言に触れることができて興味深かったです。

石川
 私も興味があったので、調べてみると、このような【参考文献】が見つかりました。読んでみてください。

【参考文献】
 （小林隆「方言が明かす日本語の歴史」より）

（中略）

石川
 そうですね。ただ、最近では、私たちも大阪にいながら、さまざまな方言を聞く機会は増えていきますよね。テレビ番組でも使われるし、自分たちも使うでしょう。そこで、他の資料も調べてみました。

【資料1】と【資料2】です。

【資料1】
 （井上史雄「日本語ウォッチング」より）

【参考文献】

（小林隆「方言が明かす日本語の歴史」より）

- ◆指導にあたって
- ☆提示されている文章表現と図表などを常に比較しながら関連づけて注意深く読み取らせることが大切である。
 - ☆中心となる話題や重要な言葉に注意しながら読み、細かい部分の内容をとらえさせるようにする。



文章に表れている考え方をとらえ,自分の考え方を,根拠を明確にして書く



書くこと 読むこと

【学習指導要領との関連】

〔第1学年〕 B 書くこと

(1) ウ 伝えたい事実や事柄について,自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

〔第1学年〕 C 読むこと

(1) オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ理解し,自分のものの見方や考え方を広げること。

記述式	正答率%	無解答率%
B 2 三	30.8	26.7

**B区分問題中
無解答率が最も高い**

**B
2**

考えられる課題

- 自分の考えを条件にしたがって書こうとすること
- 資料の内容を考えの根拠としたり,複数の資料の内容に触れたりして書くこと

◆指導にあたって

- ☆ 根拠を明確にして自分の考えを書かせるようにする。記述に当たっては,読み手に対してどの部分が根拠であるかが明確になるように文末表現や接続語の使い方などを工夫させる。
- ☆ 「自分の考えをもつ」よう,叙述に基づいて細部の内容を正確にとらえるとともに,文章の構成や展開,表現の特徴を分析的にとらえさせ,考えの根拠として文章の表現や内容に即して示させるよう指導のてだてを工夫する。
- ☆ 明確にする根拠として,体験したことや学習したことに基づいて,複数の実例や専門的な意見などを示させることも大切である。

三 線部②の、最近方言を聞く機会が増えた理由を、これまでの二人の会話と【資料1】 【資料2】を読み、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 【資料1】 【資料2】の両方の内容にふれて書くこと。

条件2 「メディア」「キャラクター」の両方とも文中に使うこと。

条件3 「最近、方言を聞く機会が増えた理由は、」に続けて、六十字以上、八十字以内で書くこと



場面の展開や登場人物の描写などに注意して、内容を理解する



読むこと

②は、他の二つと違って、博士が A

ように感じた音である。

線部①から③はどれも音を表したものです。その中で、②だけ他の二つとは異なります。その違いを説明する次の文の空欄 A 以内で抜き出しなさい。ただし、句読点は字数にふくめず。

（川端裕人「今ここにいるほくら」は「よひ」

B 3 次の分掌を読んで、あとの問いに答えなさい。

【学習指導要領との関連】
 〔第1学年〕 C 読むこと
 (1) ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

短答式	正答率%	無解答率%	誤答率%
B 3	19.7	25.5	54.8

B 区分問題中
 正答率は2番目に低い
 無解答率・誤答率は2番目に高い

考えられる課題
 ●文章の展開に即して内容をとらえ、登場人物の心情や行動、情景描写などに注意して読むこと。

◆指導にあたって

- ☆文学的な文章を読む際に、文章の特徴や表現の仕方に着目して、登場人物の心情や情景を豊かにとらえて読むようにする。
- ☆文脈の中での言葉の意味をとらえ、文と文とのつながりや、前後の段落のつながりに注意して読むようにする。
- ☆文章の構成や展開、表現の特徴をとらえるために、短編小説の冒頭部の基本的な特徴をとらえさせ、表現手法の仕掛けを客観的にとらえるよう指導することが効果的である。

条件にしたがって自分の考えを明確にして書く



全国H24 B 1 三

(「美しい日本語とは」による)



三 この対談を読んで、あなたは、これからどのような言葉の使い方をしたかと考えますか。次の条件1から条件3にしたがって、あなたの考えを具体的に書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1** 対談での大岡さん、壇さんのいずれかの発言の内容を取り上げて書くこと。
- 条件2** これから使っていきたい言葉の例を挙げて書くこと。
- 条件3** 八十文字以上、百二十文字以内で書くこと。

B 3

三 この文章に合う絵を、本文の(【絵】)に入れることにしました。あなたなら、どちらの絵を入れますか。【絵】のAとイから一枚選び、選んだ絵の記号を書きなさい。(どちらの絵を選んでかまいません。)その上で、その絵を入れる理由を、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

- 条件1** その絵を入れた理由が分かるように、本文と選んだ絵とを関連付けて書くこと。
- 条件2** 本文中の言葉を使って書くこと。
- 条件3** 解答用紙に書かれている後ろの文「だから、私はこの絵を入れます。」が最後の文になるように八十文字以上、百字以内で書くこと。

【絵】



記述式	正答率%	無解答率%
大阪府	16.5	21.5
全国	19.7	13.9

記述式	正答率%	無解答率%
B 3 三	43.6	9.8

対談の内容を取り上げて書く。具体例を挙げて書く。

本文と絵とを関連付けて書く。本文中の言葉を使って書く。

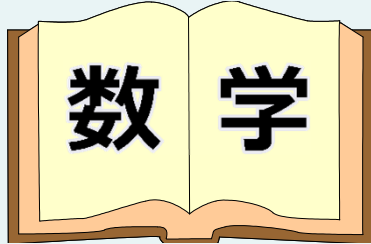
参考

記述式	正答率%	無解答率%
B 2 三	30.8	26.7

二つの資料の内容に触れて書く。二つの言葉を使って書く。

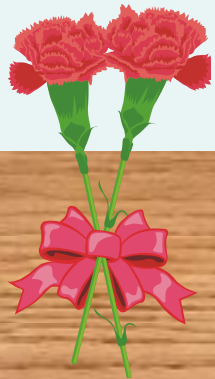
指導にあたって
 ☆取り上げる資料が、自分の主張を裏付ける材料や根拠として適切であるか、信頼できるものであるか検討・判断させ、目的に応じて適切に使い分けさせる。
 ☆根拠となる事柄を具体的かつ正確に取り上げながら自分の考えを書くように指導する。

● 中学校 3 年生 ●



中学校

領域別
観点別
形式別
正答率一覧表
(府内公立)



分類
学習指導要領の 領域等
評価の観点
問題形式

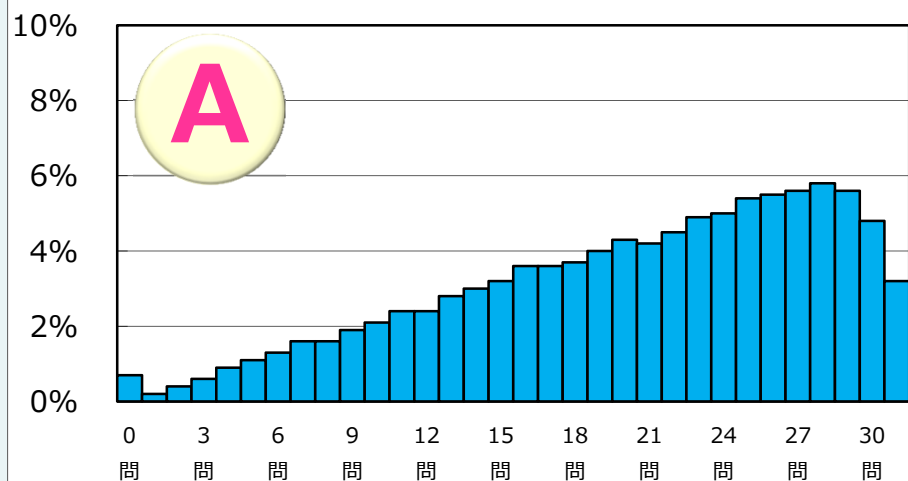
A	
全問題数	31問
正答率	65.5%
誤答率	28.1%
無解答率	6.4%

領域・観点・形式	平均正答率
数と式	70.0%
図形	60.5%
関数	64.3%
資料の活用	73.5%
関心・意欲・態度	***
見方や考え方	***
技能	68.9%
知識・理解	61.8%
選択式	61.2%
短答式	70.1%
記述式	***

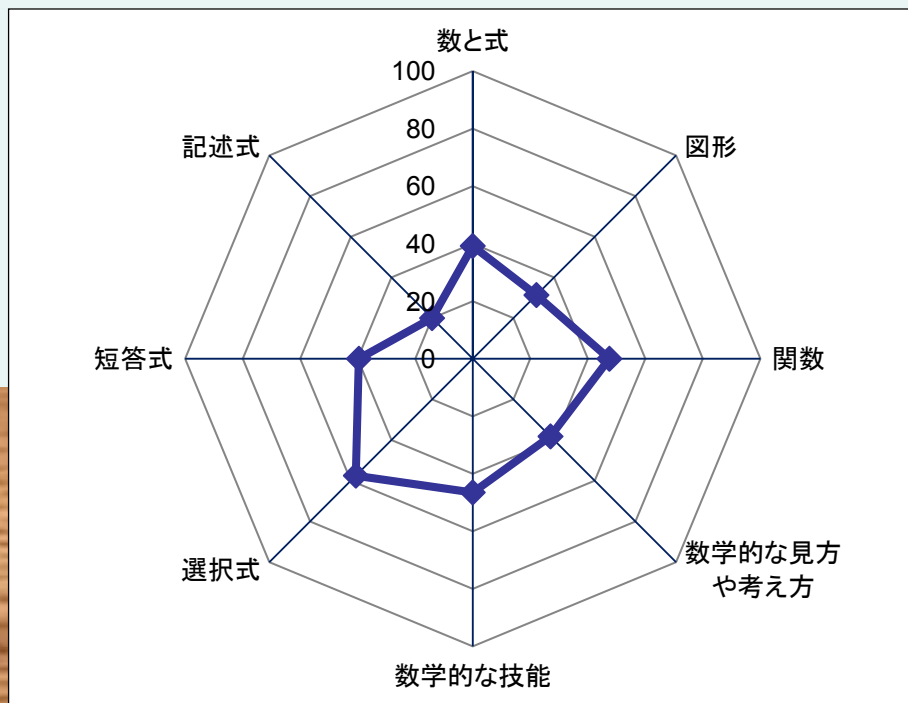
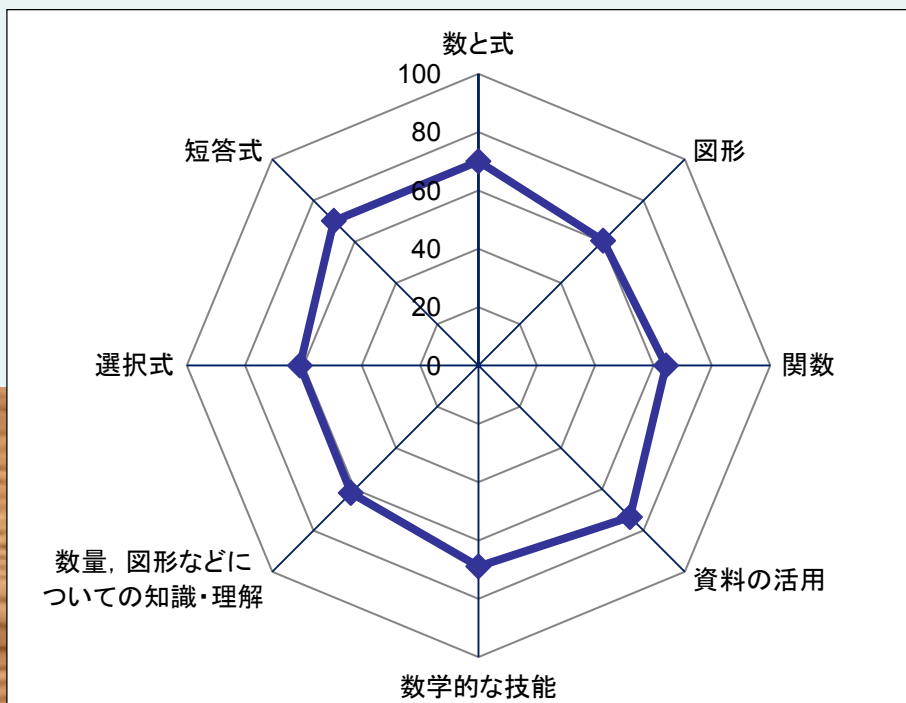
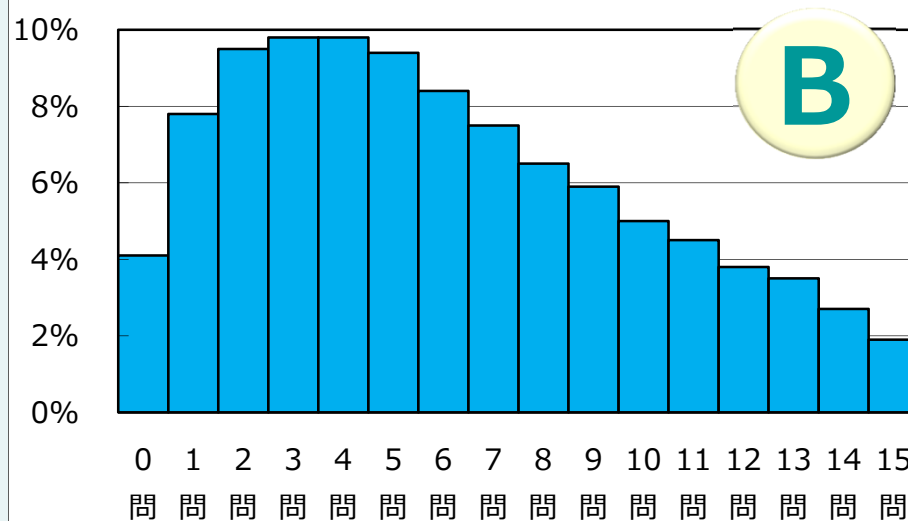
B	
全問題数	15問
正答率	40.4%
誤答率	44.2%
無解答率	15.4%

領域・観点・形式	平均正答率
数と式	39.2%
図形	31.3%
関数	47.5%
資料の活用	***
関心・意欲・態度	***
見方や考え方	38.2%
技能	46.5%
知識・理解	***
選択式	57.5%
短答式	39.6%
記述式	20.0%

平成24年度 大阪府学力・学習状況調査 ヒストグラム+レーダーチャート (府内公立)



中学校 第3学年 数学





中学校 第3学年 数学



	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	84.3	13.5	2.2
2	1(2)	66.2	22.9	10.9
3	1(3)	88.5	6.4	5.1
4	1(4)	56.9	25.8	17.3
5	2(1)	70.7	28.2	1.1
6	2(2)	68.0	31.0	1.0
7	2(3)	80.4	11.0	8.6
8	2(4)	62.1	25.4	12.5
9	3(1)	71.5	18.7	9.8
10	3(2)	51.5	46.9	1.6
11	4(1)	39.7	58.5	1.8
12	4(2)	50.1	48.6	1.3
13	4(3)	85.5	13.3	1.2
14	5(1)	57.7	41.1	1.2
15	5(2)	86.7	9.7	3.6
16	5(3)	65.6	32.9	1.5

	設問	正答	誤答	無解答
17	6(1)	47.7	50.6	1.7
18	6(2)	80.0	14.8	5.2
19	7(1)	32.7	65.7	1.6
20	7(2)	58.8	39.6	1.6
21	8(1)	86.6	8.5	4.9
22	8(2)	52.2	27.5	20.3
23	9(1)	62.3	35.7	2.0
24	9(2)	68.3	29.6	2.1
25	10(1)	29.4	39.1	31.5
26	10(2)	60.1	22.7	17.2
27	11(1)	72.0	18.1	9.9
28	11(2)	74.2	14.1	11.7
29	11(3)	73.3	23.9	2.8
30	12(1)	73.2	24.9	1.9
31	12(2)	73.8	24.2	2.0

	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	69.4	27.2	3.4
2	1(2)	69.1	28.3	2.6
3	1(3)	48.4	50.5	1.1
4	1(4)	64.0	34.8	1.2
5	2(1)	36.3	30.6	33.1
6	2(2)	46.8	35.5	17.7
7	2(3)	34.4	42.4	23.2
8	3(1)	36.0	61.7	2.3
9	3(2)	49.6	48.0	2.4
10	4(1)	27.7	45.3	27.0
11	4(2)	19.6	76.1	4.3
12	4(3)	34.1	45.0	20.9
13	5(1)	47.1	50.5	2.4
14	5(2)A	13.9	36.7	49.4
15	5(2)B	9.8	49.9	40.3

平成24年度 大阪府学力・学習状況調査
設問別調査結果 (府内公立)





方程式が表す数量の意味を理解している



数量、図形などについての知識・理解

A 3 (2) 次の<問題>を解く過程で、<方程式>をつくるところまで考えました。下の問いに答えなさい。

<問題>
 弟は、家から800m 離れた駅に向かって出発しました。その4分後、兄は弟を追いかけて家を出発しました。弟は毎分50m、兄は毎分75m で歩くとすると、兄は駅に着くまでに、弟に追いつくことができるでしょうか。

<方程式>
 兄が家を出発してから x 分後に弟に追いつくとすると

$$50(x + 4) = 75x$$

方程式の $50(x + 4)$ はどんな数量を表していますか。次のア～エのうちから、正しいものを1つ選びなさい。

- | | |
|---|-----------------|
| ア 弟が歩いた時間 | 各選択肢の反応率 |
| イ 兄が歩いた時間 | |
| <input checked="" type="radio"/> ウ 弟が歩いた道のり | |
| エ 兄が歩いた道のり | |

- | | |
|---|--------|
| ア | 15.5 % |
| イ | 14.8 % |
| ウ | 51.5 % |
| エ | 16.6 % |

誤答率46.9%

選択式	正答率%	無解答率%
3 (2)	51.5	1.6

【学習指導要領との関連】

【第1学年】 A 数と式

(3) 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。

ア 方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。

考えられる課題

●式が示す数量の意味理解

◆指導にあたって

☆文字式を用いて数量の関係を表したり読み取ったりする学習活動を通して理解を深める場面を設定する。

☆問題の解決方法に関する見通しを持つ場面を設定し、手順の説明をする活動などを取り入れる。

「数と式」の問題中、正答率が最も低く、誤答率が最も高い

参考

目的に応じて結果を検討し，処理する態度を育てる

【H24全国学力・学習状況調査 中学3年・数学A】

A 3 (4) 次の問題について考える。

問題

家から1800m離れた駅に向かって，妹が家を出発しました。
兄が妹の忘れ物に気づいて，妹が出発してから15分後に，同じ道を自転車で追いかけてきました。
妹は分速70m，兄は分速220mで進むとすると，兄が妹に追いつくのは兄が出発してから何分後ですか。

この問題は，方程式を使って次のように解くことができる。

①問題の中の数量を，文字を用いた式で表す

【解答】

兄が出発してから x 分後に妹に追いつくとすると，

- ①
- 妹に追いつくまでに兄が自転車で進む道のりは $220x$ m，
 - 兄に追いつかれるまでに妹が進む道のりは $70(15+x)$ mと表すことができる。

これらの道のりは等しいので， $220x = 70(15+x)$
この方程式を解くと， $220x = 1050 + 70x$
 $150x = 1050$
 $x = 7$

$x = 7$ のとき，つくった方程式の左辺と右辺の値は1540となり等しいので， $x = 7$ は方程式の解である。

- ②
- 兄が出発してから7分後までに兄と妹が進む道のり1540 mは，家から駅までの道のり1800mより短いから，兄は妹が駅に着く前に追いつくことができる。

よって，兄が妹に追いつくのは兄が出発してから7分後である。

答 7分後

問 ②で調べていることがらは何か。

- ア 方程式が等しい関係にある数量を用いてつくられているかどうか。
- イ 方程式から得られた値がその方程式の解であるかどうか。
- ウ 方程式の解を問題の答えとしてよいかどうか。
- エ つくった方程式を正しく解いているかどうか。

各選択肢の反応率

ア 14.5 %
イ 27.6 %
ウ 45.6 %
エ 10.4 %

選択式	大阪府	全国
正答率	45.6%	47.8%
誤答率	52.6%	51.0%
無解答率	1.8%	1.2%

【趣旨】方程式を活用して問題を解決する手順を理解しているかどうかをみる。

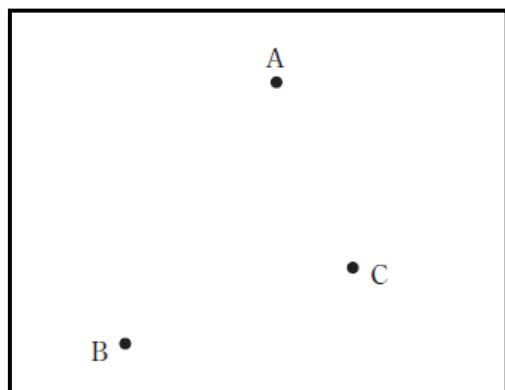
【この問題から見られた課題】 問題解決に至る見通しが十分ではない

3点から等距離にある点の作図の方法を理解している



数量、図形などについての知識・理解

- A 4** (1) 下図の3つの点A, B, C のどの点からも等しい距離にある点を作図します。次のア～エのうちから、作図の方法として、正しいものを1つ選びなさい。



誤答率58.5%

各選択肢の反応率

- ア 22.3%
- イ 16.1%
- ウ 20.1%
- エ 39.7%

- ア $\angle BAC$ の二等分線と $\angle BCA$ の二等分線をかき、その交点を求める。
- イ $\angle BAC$ の二等分線と線分BC の垂直二等分線をかき、その交点を求める。
- ウ 線分AB の垂直二等分線と $\angle BCA$ の二等分線をかき、その交点を求める。
- エ 線分AB の垂直二等分線と線分BC の垂直二等分線をかき、その交点を求める。

A問題中、正答率が3番目に低く、誤答率が2番目に高い

選択式

正答率%

無解答率%

4 (1)

39.7

1.8

【学習指導要領との関連】

〔第1学年〕 B 図形

(1) 観察, 操作や実験などの活動を通して, 見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに, 論理的に考察し表現する能力を培う。

ア 角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を理解し, それを具体的な場面で活用すること。

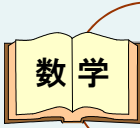
考えられる課題

- 二等分線の作図の意味理解

◆指導にあたって

☆作図により, 線分の垂直二等分線や角の二等分線の性質を読み取る活動を取り入れる。

☆選択肢で示されたア～エの方法で実際に作図をする場面を設定し, 確認する活動などを取り入れる。



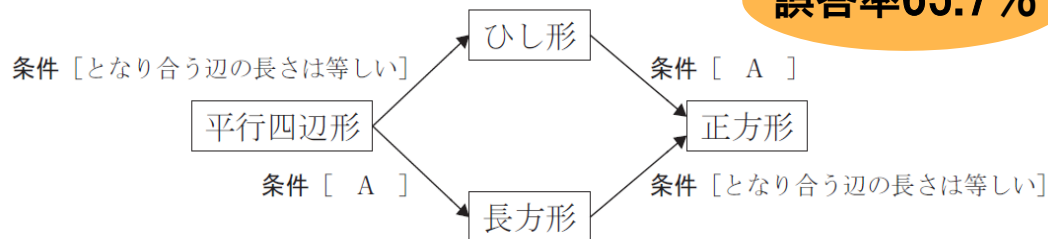
特別な四角形になるための条件を理解している



数量、図形などについての知識・理解

A 7 (1) 次のア～エのうちから、条件[A]にあてはまるものを1つ選びなさい。

誤答率65.7%

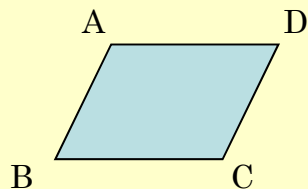


- ア 1つの角は直角
- イ 向かい合う辺は平行
- ウ 向かい合う辺の長さは等しい
- エ 対角線は垂直に交わる

(2) 四角形ABCDは平行四辺形である。「1組の向かい合う辺が平行で長さが等しい」ことを記号で示すと、

, $AD = BC$

参考



- ア $AD \parallel BC$
- イ $AB \parallel DC$
- ウ $AB = DC$
- エ $AC = BD$

選択式	大阪府
正答率	58.8%
誤答率	39.6%
無解答率	1.6%

選択式	正答率%	無解答率%
7 (1)	32.7	1.6

【学習指導要領との関連】

〔第2学年〕 B 図形

(2) 図形の合同について理解し図形についての見方を深めるとともに、図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を養う。

ウ 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。

考えられる課題

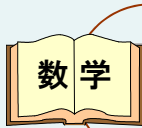
- 平行四辺形の性質の意味理解

◆ 指導にあたって

☆ 平行四辺形の定義と性質を基に、操作を伴う活動を通して、特別な四角形に関する理解を深める場面を設定する。

☆ 平行四辺形になるための条件と、長方形、ひし形、正方形の定義から、図形同士の関係性を説明する活動を取り入れる。

A問題中、正答率が2番目に低く、誤答率が最も高い



一次関数の変化の割合を求めることができる



数学的な技能

A 10

(1) 一次関数 $y = 3x - 2$ において、 x の値が1から4まで増加するときの、変化の割合を求めなさい。

誤答率39.1%

【H22全国学力・学習状況調査 中学3年・数学A】

類題

11

(1) 一次関数 $y = 2x - 3$ の変化の割合を求めなさい。

短答式	大阪府	全国
正答率	49.6%	51.6%
誤答率	20.8%	21.8%
無解答率	29.6%	26.6%

短答式	正答率%	無解答率%
10 (1)	29.4	31.5

【学習指導要領との関連】

〔第2学年〕 C 関数

- (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。
- イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。

考えられる課題

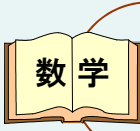
●変化の割合の意味理解

◆指導にあたって

☆一次関数における変化の割合は、直線の傾きと同値であることを、いくつかの異なる範囲で確かめる活動を取り入れる。

☆2乗に比例する関数を取り扱う際、変化の割合について、グラフを用いて視覚的に理解を深める場面を設定する。

A問題中、正答率が最も低く、無解答率が最も高い



方針に基づいて証明することができる



数学的な見方や考え方

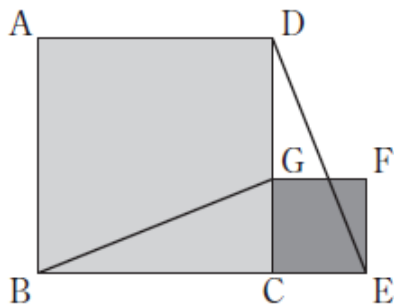
B 3 図のように、大小2つの正方形ABCDと正方形CEFGがあります。2つの正方形の頂点を結ぶ2本の線分をBG、DEとします。

(1) $BG = DE$ を証明します。下の()をうめる形で、証明を完成させなさい。

証明

△BCGと△DCEにおいて、
 正方形の4つの辺の長さはすべて等しいので
 () ……①
 () ……②
 正方形の4つの角はすべて直角なので
 () ……③
 ①, ②, ③より
(三角形の合同条件)から△BCG ≅ △DCE
 合同な図形の対応する辺の長さは等しいので
 $BG = DE$

誤答率61.7%



また、利用する**三角形の合同条件**はどれですか。次のア～オのうちから、正しいものを1つ選びなさい。

- ア 3辺の長さがそれぞれ等しい
- イ** 2辺の長さとその間の角がそれぞれ等しい
- ウ 1辺とその両端の角がそれぞれ等しい
- エ 直角三角形で斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい
- オ 直角三角形で斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい

◆証明の完成率 **47.5%**
 ◆条件イの選択率 **51.9%**
 ◆(1)の正答率 **36.0%**

短答式	正答率%	無解答率%
3 (1)	36.0	2.3

【学習指導要領との関連】

〔第2学年〕 B 図形

- (2) 図形の合同について理解し図形についての見方を深めるとともに、図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を養う。
- ア 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解すること。
 - イ 証明の必要性と意味及びその方法について理解すること。

考えられる課題

- 三角形の合同条件の意味理解

◆指導にあたって

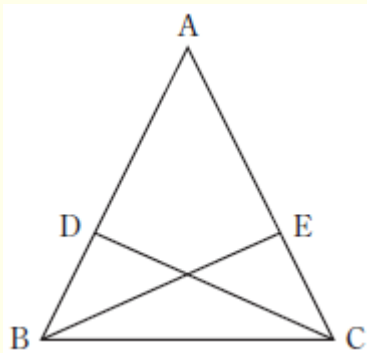
☆「証明の内容」と「根拠や理由」との対応を意識させる活動を取り入れる。

☆証明が完成できたうちの4人に1人が、誤った合同条件を選んでいることから、証明をする前に、見通しを持たせてじっくり考える場面を設定する。

B問題中、誤答率が2番目に高い

参考 証明に用いられている三角形の合同条件を理解している

A 6 (1) 下図は、 $AB = AC$ の二等辺三角形ABCです。
 辺AB, AC 上にそれぞれ点D, E を、 $AD = AE$ となるようにとります。このとき、 $BE = CD$ であることを、次のように証明しました。次の<証明>の中にあるア～エのうちから、証明をする上で**必要のない条件**を1つ選びなさい。



選択式	大阪府
正答率	47.7%
誤答率	50.6%
無解答率	1.7%

証明

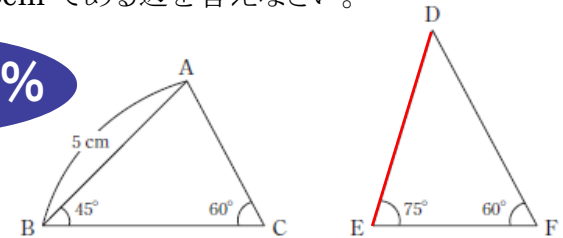
△ABE と△ACD において、
 仮定より $AB = AC$ ……ア
 仮定より $AE = AD$ ……イ
 共通な角だから $\angle BAE = \angle CAD$ ……ウ
 二等辺三角形の底角は等しいので $\angle ABC = \angle ACB$ ……**エ**

以上より、
2辺とその間の角がそれぞれ等しい から $\triangle ABE \equiv \triangle ACD$
 合同な三角形では、対応する辺の長さが等しいので、 $BE = CD$

【趣旨】合同な三角形で、対応する辺を求めることができるかどうかをみる。

(2) 下図の2つの三角形は合同です。このとき、△DEF の辺で、長さが5cm である辺を答えなさい。

正答率80.0%



相当数の生徒ができているが…

【趣旨】三角形の合同を証明する上で、必要のない条件を選ぶかどうかをみる。

【合同条件】2辺とその間の角がそれぞれ等しい

◆**辺**を選ぶ **矛盾**

(ア・イ) → 27.4%

◆**角**を選ぶ ○

(ウ・エ) → 70.8%

各選択肢の反応率

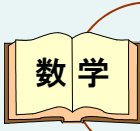
ア 6.5%

イ 20.9%

ウ 23.1%

エ 47.7%

【この問題から見られた課題】 判断した結果と内容が矛盾している



数量の関係を見だし数学的に表現することができる



数学的な技能

B 4 (2) (1)の表にある「重さ」と「支点からの距離」の関係について正しく述べているものを、次のア～ウのうちから1つ**選び**なさい。また、「支点からの距離」を x 、「重さ」を y としたときの関係を、**式で表し**なさい。

図	支点からの距離	重さ(g)
	1	1080
	2	540
	3	360
	4	A
	5	B
	6	180

- ア 「重さ」は、「支点からの距離」に比例している。
- イ 「重さ」は、「支点からの距離」に反比例している。
- ウ 「重さ」は、「支点からの距離」の一次関数である。

式は $y = \frac{1080}{x}$

各選択肢の反応率
 ア 30.0 %
 イ 49.3 %
 ウ 16.4 %

誤答率 76.1%

短答式	正答率%	無解答率%
4 (2)	19.6	4.3

【学習指導要領との関連】
【第1学年】 C 関数
 (1) 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。
 イ 比例、反比例の意味を理解すること。
 エ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。

考えられる課題
 ●反比例の意味理解

◆指導にあたって
 ☆2つの数量を、『「～」は「・・・」の関数である』などと表現することを通して、関数関係の意味理解を深める場面を設定する。
 ☆「結果」を導く際に、「根拠」や「理由」を示しながら説明し合う活動を取り入れる。

全問題中、誤答率が最も高い

参考 事象を数学的に解釈し、事柄が成り立つ理由を説明できる

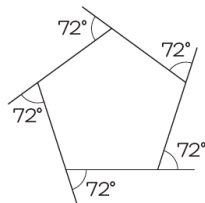
【H24全国学力・学習状況調査 中学3年・数学B】

B 6 多角形の外角の和が 360° であることをもとに、正多角形の1つの外角の大きさについて調べます。

正多角形の外角の大きさはどれも等しいから、正五角形の1つの外角の大きさは、外角の和 360° を頂点の数5でわって求められます。

$$360^\circ \div 5 = 72^\circ$$

だから、正五角形の1つの外角の大きさは 72° です。



たとえば正三角形のときは、頂点の数が3だから、外角の和 360° を3でわって、1つの外角の大きさを 120° と求められるね。



【まとめ】

正多角形の1つの外角の大きさは、 360 を頂点の数でわると求まる。

(3) 正多角形の頂点の数が x のときの1つの外角の大きさを y° とする。 x と y の正しい関係を、下のアからウの中から1つ選びなさい。

また、それが正しいことの理由を説明しなさい。

ア 比例

イ 反比例

ウ 比例ではない一次関数

各選択肢の反応率

ア 25.6%

イ 48.8%

ウ 16.9%

(2) 正多角形の1つの外角の大きさについて、「正多角形の頂点の数を決めると、それにもなって正多角形の1つの外角の大きさがただ1つ決まる」という関係があることが分かります。

下線部を、次のように表すとき、とに当てはまる言葉を書きなさい。

はの関数である。

① 正多角形の1つの外角の大きさ

② 正多角形の頂点の数

正答率15.9%

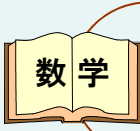
【趣旨】考察の対象を明確に捉えられるかどうかをみる。

【H24大阪府B4(2)】と【H24全国B6(3)】の反応率より

反応率	ア 比例	イ 反比例 (正答率)	ウ 一次関数
全国B6	25.6%	48.8%	22.2%
大阪B4	30.0%	49.3%	19.6%

【趣旨】2つの数量関係を判断し、その理由が説明できるかどうかをみる。

【この問題から見られた課題】 選んだ関係の判断理由が説明できていない

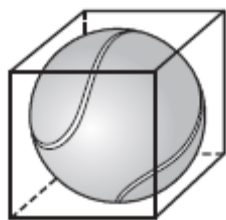


結果にいたる過程を数学的に表現することができる



数学的な見方や考え方

B 5 (2) 下図のように、テニスボール1個がぴったり入る立方体と円柱の容器があります。この2つの容器の表面積を比べた結果は、下のよう表すことができます。あとの問いに答えなさい。
ただし、テニスボールの半径を r 、円周率は π とし、容器の厚さは考えないものとします。



立方体



円柱

結果

立方体の表面積は $24r^2$ 、
円柱の表面積はAなので、
Bのほうが表面積が大きい

上のAにあてはまる文字式とその求め方をかきなさい。

誤答率36.7%

(表面積) = (底面積) + (側面積)
※「柱」には「底面」が2つあることを確認する必要がある。

(2) Bにあてはまる立体の名称とそれを選んだ理由を説明しなさい。

誤答率49.9%

反応率	円柱	立方体	(正答)
B5(2)B	11.9%	43.6%	9.8%

◆「立方体」を選んだ4人中3人に、「比較」の欠落や「説明」の不足が見られた。

A: 全問題中、正答率が2番目に低く、無解答率が最も高い
B: 全問題中、正答率が最も低く、無解答率が2番目に高い

記述式	正答率%	無解答率%
5 (2)A	13.9	49.4
5 (2)B	9.8	40.3

【学習指導要領との関連】

【第1学年】 B 図形

- (2) 観察, 操作や実験などの活動を通して, 空間図形についての理解を深めるとともに, 図形の計量についての能力を伸ばす。
- ウ 扇形の弧の長さや面積並びに基本的な柱体, 錐体及び球の表面積と体積を求めること。

考えられる課題

●立体の表面積に関する意味理解

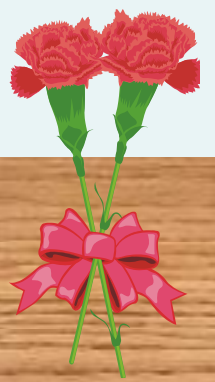
◆指導にあたって

☆表面積の求積にあたっては、立体の面構成を基に見通しを持たせ、「結果」に至る「手順」を示しながら説明し合う活動を取り入れる。また体積との区別が大切である。

● 中学校 3 年生 ●



中学校
 領域別
 観点別
 形式別
 正答率一覧表
 (府内公立)



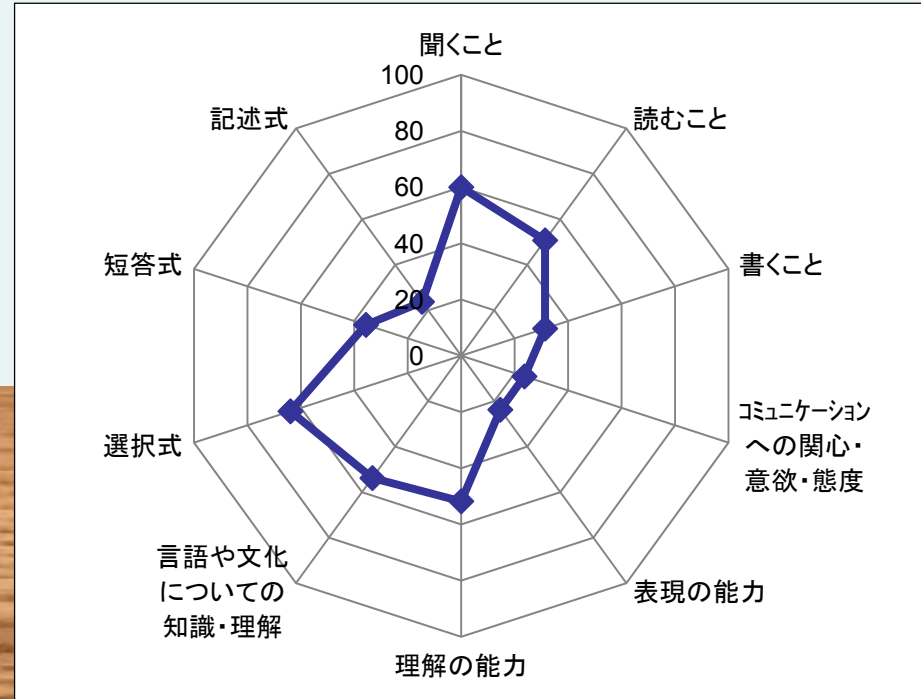
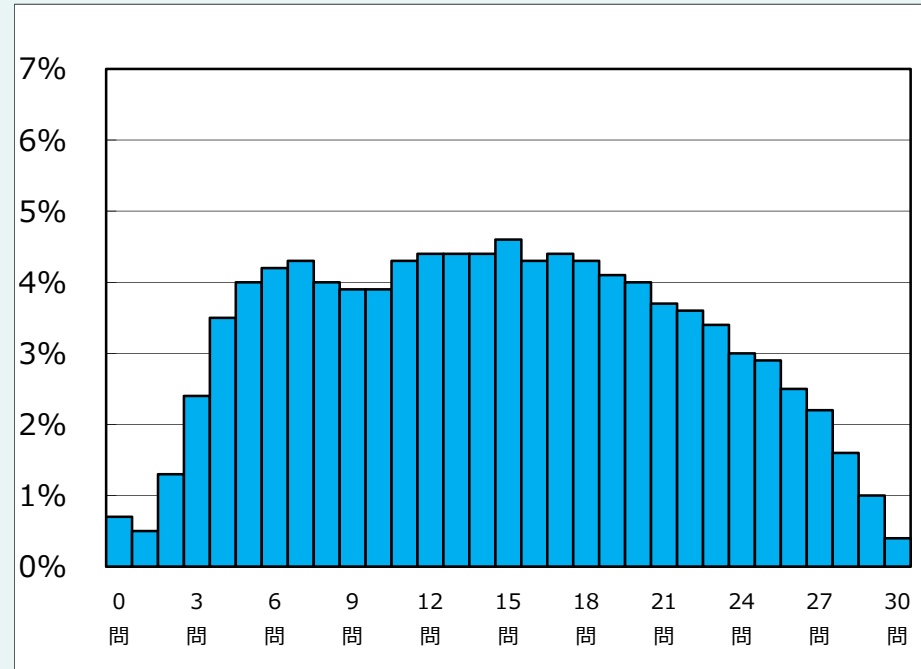
分類
学習指導要領の 領域等
評価の観点
問題形式

24	
全問題数	30問
正答率	48.7%
誤答率	39.0%
無解答率	12.3%

領域・観点・形式	平均正答率
聞くこと	60.0%
話すこと	***
読むこと	50.8%
書くこと	31.4%
関心・意欲・態度	23.7%
表現の能力	23.7%
理解の能力	51.8%
知識・理解	53.8%
選択式	63.9%
短答式	35.6%
記述式	23.7%

	設問	正答	誤答	無解答
1	1(1)	92.2	7.1	0.7
2	1(2)	90.2	9.1	0.7
3	1(3)	45.2	54.0	0.8
4	1(4)	43.3	55.8	0.9
5	2(1)	67.9	31.1	1.0
6	2(2)	54.5	44.4	1.1
7	2(3)	55.3	43.6	1.1
8	2(4)	31.4	67.3	1.3
9	3(1)	55.0	44.0	1.0
10	3(2)	80.5	18.4	1.1
11	4①	43.5	32.7	23.8
12	4②	35.7	40.0	24.3
13	5①	53.9	31.5	14.6
14	5②	14.0	49.2	36.8
15	6(1)	19.1	54.8	26.1
16	6(2)	20.8	57.3	21.9
17	7(1)	57.4	22.6	20.0
18	7(2)	52.6	24.8	22.6
19	7(3)	23.5	53.9	22.6
20	8(1)	73.3	24.4	2.3
21	8(2)	74.5	23.1	2.4
22	8(3)	49.8	47.7	2.5
23	9(1)	67.8	29.4	2.8
24	9(2)	74.1	23.1	2.8
25	9(3)	67.1	29.4	3.5
26	10(2)	20.0	57.3	22.7
27	10(3)	24.2	52.6	23.2
28	10(4)	5.4	67.9	26.7
29	10(5)	32.3	40.3	27.4
30	11	36.6	33.8	29.6

中学校 第3学年 英語



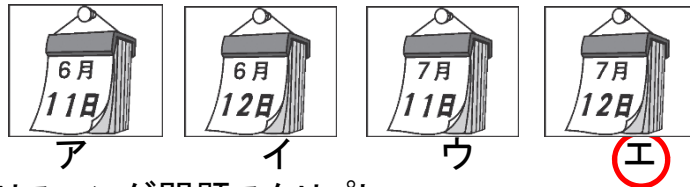
平成24年度 大阪府学力・学習状況調査
ヒストグラム+レーダーチャート (府内公立)



問いかけに対する適切な応答を考える

理解の能力

- 1 これから流れる(1)～(4)の会話と質問を聞いて、その答えとして最も適しているものを、ア～エのうちからそれぞれ1つずつ選びなさい。 * (3)のみ掲載



- (3)リスニング問題スクリプト

男性: What's the date today?

女性: It's July eleventh.

男性: Tomorrow is Kevin's birthday.

女性: Really? I didn't know that.

男性: Let's give him a present.

女性: That's a good idea.

女性N: Question. When is Kevin's birthday?

「ウ」を選んだ解答は全体の **31.8%**

【学習指導要領との関連】

[ア 聞くこと]

- イ 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。

選択式	正答率%	誤答率%	無解答率%
1 (3)	45.2	54.0	0.8

リスニング問題で誤答率が3番目に高い

考えられる課題

- 複数の情報を活用する力
- 会話全体の流れを理解する力

◆指導にあたって

☆本設問においては、聞き取りながらメモを取るなどして、会話全体の流れを把握させ、最終的に問われている内容を理解させることが大切である。

☆日頃から英語を用いたコミュニケーション活動を行い、会話全体の内容を把握して、場面や相手の意向に即した応答をできるようにさせる。



文脈に即した語句を使う

理解の能力

4 次の、由美(Yumi)と留学生のキャシー(Cathy)との会話文を読んで、下線部①と②の()に最も適している英語をそれぞれ1語ずつ書きなさい。ただし、最初の文字が指定されているので、その文字で始まる英語を答えなさい。

Yumi: Are you free next Sunday, Cathy?

Cathy: Next Sunday? Why?

Yumi: I am going to go to the *Tenjin Matsuri* Festival to see the fireworks.
Do you want to go with me?

Cathy: That sounds like fun.
I play tennis in the (①m), but I'm free in the afternoon. What time do we meet?

Yumi: (②H) (a) five o'clock at the station?

Cathy: OK. See you on Sunday.

(注) free ひまな *Tenjin Matsuri* Festival 天神祭 fireworks 花火
sounds like ~のようだ tennis テニス station 駅

短答式	正答率%	無解答率%
4 ①	43.5	23.8
4 ②	35.7	24.3

①の正答率は昨年度の同趣旨の問題より改善されたが無解答率が増加した(H24正答率36.1%無解答率17.4%)

考えられる課題

- 接続詞や類似する表現から文脈に即した語句を選ぶ力

◆ 指導にあたって

☆ 日頃からある程度まとまりのある会話文を読むなどして、その内容や書き手(話し手)の意向などを理解する活動を取り入れる。

【学習指導要領との関連】

[ウ 読むこと]

ウ 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取る
こと。



資料の中から必要な情報を把握する



理解の能力

6 大学生のティム(Tim)は、友人の浩(Hiroshi)と香苗(Kanae)と一緒に図書館で調べものを行います。次の会話文は、3人が図書館に行くのに都合のいい日時について話し合った内容です。この会話文と下の開館予定と休館日の表(Library Schedule)に示された情報をもとに、(1)と(2)の下線部に最も適している英語をそれぞれ1語ずつ書きなさい。

Tim: Hi, Hiroshi and Kanae.
 When can we go to the library?
 Hiroshi: Well, I work from twelve o'clock to five o'clock every day.
 Tim: I see. I have Science at one o'clock from Monday to Thursday.
 Kanae: I am busy with a volunteer activity all morning on weekdays.
 Tim: Then, let's meet in the evening.
 Hiroshi: OK. What day is good for you, Kanae?
 Kanae: I can go next Friday.

Library Schedule		
	Opening hours	Closed on
City Library	9:30 a.m. to 8:00 p.m.	Fridays
First Library	10:00 a.m. to 10:00 p.m.	Sundays
Park Library	9:30 a.m. to 4:00 p.m.	Saturdays

(注) busy 忙しい volunteer activity ボランティア活動
 weekday 平日 evening 夕方 closed on 休館日

- (1) What is Hiroshi doing at one o'clock on Monday?
 He is _____ .
- (2) Which library will they go to?
 They will go to _____ Library.

短答式	正答率%	無解答率%
6 (1)	19.1	26.1
6 (2)	19.9	21.9

(1)の正答率は短答式問題中2番目に低い

【学習指導要領との関連】

[ウ 読むこと]

ウ 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。

◆指導にあたって

☆様々な形式の資料から必要な情報を読み取る活動や、本問題のように英文と資料という複数の媒体から得た情報を照らし合わせて、適切な判断をする場面を設定する。



適切な疑問詞を用いて文を作成する



表現の能力

10 あなたは、地元のサッカークラブの外国人選手にインタビューをして、学校で発表することになりました。【メモ】の(1)～(5)は、あなたが質問する内容です。【メモ】をもとに、【質問文】の(2)～(5)をそれぞれ完成させなさい。なお、質問文の書き方は(1)を参考にし、【語句リスト】にある語句を1回ずつ使うこととします。【語句リスト】 how many where what when 【メモ】

- (1) なぜ日本に来たのか。
- (2) どこから来たのか。
- (3) いつサッカーを始めたのか。
- (4) 毎日何時間、練習するのか。
- (5) 自由時間は何をするのか。



【質問文】

- (1) Why did you come to Japan?
- (2) _____ ?
- (3) _____ playing soccer?
- (4) _____ practice every day?
- (5) _____ in your free time?

【学習指導要領との関連】

【エ 書くこと】

- イ 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。
- ウ 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。

記述式	正答率%	無解答率%
10 (2)	20.0	22.7
10 (3)	24.2	23.2
10 (4)	5.4	26.7
10 (5)	32.3	27.4

(4)はすべての設問中で最も正答率が低く、無解答率は4番目に高い

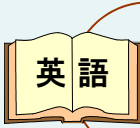
考えられる課題

- 疑問詞を用いた疑問文の理解
- Howを用いた文の理解

◆指導にあたって

☆英語で表現する際に、単語をひとつずつ置き換えるのではなく、意図を理解し、それを表現するという過程を示すことが大切である。

☆疑問詞を用いてどのように英文を組み立てたらよいか考える活動場面を設定する。



自分の考えやその理由を書く



表現の能力

11 あなたは、留学生のジミー(Jimmy)に自分のクラスについて話をします。次の英文に続く、クラスを紹介する文を1つ考え、英語で書きなさい。なお、紹介文は主語と動詞をふくむ4語以上の英文であることとします。
【ヒント】にある語句を用いてもかまいません。

Jimmy, I want to tell you about my class.

【ヒント】
 student 生徒 teacher 先生 friend 友達 classroom 教室
 sports day 体育祭 field trip 遠足 chorus contest 合唱コンクール
 kind 親切的な nice すてきな great すばらしい

【学習指導要領との関連】

[エ 書くこと]

- イ 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。
- エ 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。

記述式	正答率%	無解答率%
11	36.7	29.6

無解答率は全問中2番目に高い。昨年度(21.7%)と比較して課題がある

考えられる課題

- 与えられた条件を充たして内容的にまとまりのある文章を書くことが身につけていないこと
- 「書くこと」への意欲・関心が低いこと

◆指導にあたって

☆自分の考えを相手に伝える際には、その理由や根拠も併せて提示するなどといった書き方のポイントを、例を示すなどして指導する。

☆書く活動とともに基本的な英文や意味のまとまりのある表現に触れる機会を増やす。また、辞書を適宜、使用し自発的に自己表現活動を行うよう指導する。